

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 07 月 04 日

鉄道弘済会健康保険組合

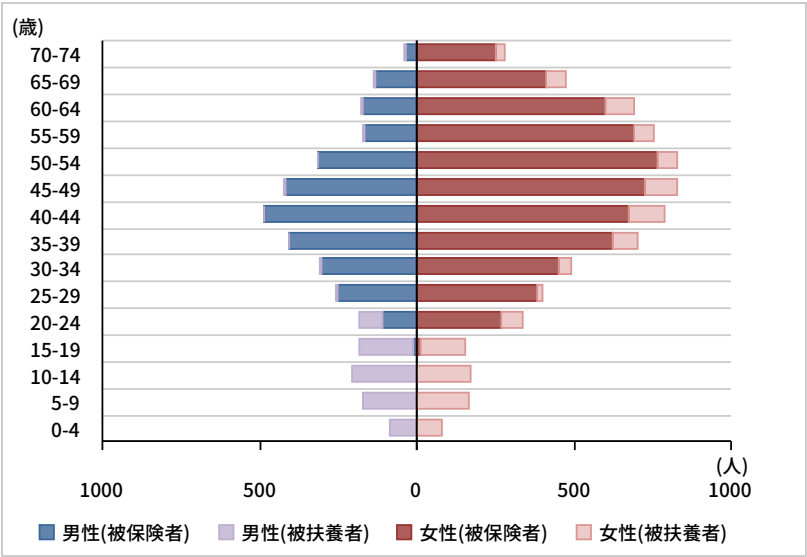
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	22246		
組合名称	鉄道弘済会		
形態	単一		
業種	飲食料品以外の小売業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	7,207名 男性33.5% (平均年齢43.54歳) * 女性66.5% (平均年齢47.6歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	11,022名	-名	-名
適用事業所数	9カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	54カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	-%o	-%o

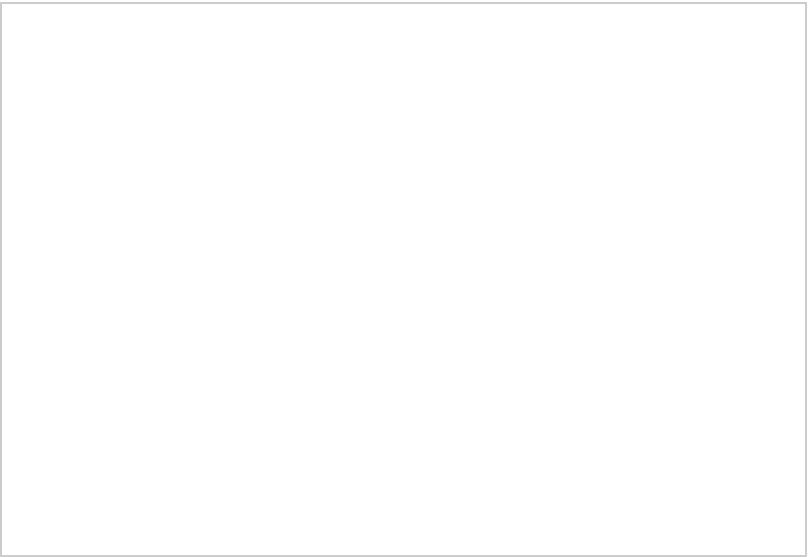
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	5	-	-	-	-
	保健師等	0	2	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	4,755 / 6,130 = 77.6 %					
	被保険者	4,597 / 5,610 = 81.9 %					
	被扶養者	158 / 520 = 30.4 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	348 / 894 = 38.9 %					
	被保険者	348 / 890 = 39.1 %					
	被扶養者	0 / 4 = 0.0 %					

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	4,500	624	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	7,900	1,096	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	13,883	1,926	-	-	-	-
	疾病予防費	29,731	4,125	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	56,014	7,772	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	2,752,013	381,853	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	2.04		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	9人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	107人	25～29	253人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	301人	35～39	407人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	488人	45～49	415人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	314人	55～59	165人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	172人	65～69	134人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	33人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	11人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	267人	25～29	384人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	452人	35～39	620人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	672人	45～49	726人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	766人	55～59	690人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	602人	65～69	410人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	250人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	87人	5～9	173人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	205人	15～19	174人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	77人	25～29	8人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	5人	35～39	2人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	5人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	5人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	7人	65～69	5人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	82人	5～9	164人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	170人	15～19	141人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	67人	25～29	16人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	40人	35～39	80人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	112人	45～49	100人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	63人	55～59	62人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	90人	65～69	62人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	30人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 鉄道構内での小売り業が主体であることから、男性被保険者と比べ、女性被保険者の割合が高い
- 被保険者中、男性と比べ女性の年齢が高い

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
・ 特定健診では、被扶養者の受診率が低い。
・ 特定保健指導の対象者では、取り組みの背景や必要性の理解不足が散見される。
・ 健康ウォーキング大会は、参加者率が低く、かつ、事業所による偏りが見える。
・ 健康相談ほっとラインの利用率は伸びているものの、他健保と比較してまだ低い。

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	事業所健康レポート
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	受診勧奨
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
疾病予防	がん検診
疾病予防	人間ドック受診補助
疾病予防	健康ウォーキング大会
疾病予防	健康相談ほっとライン
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	特定業務従事者健康診断
3	産業医による長時間労働者に対する面談
4	ストレスチェック
5	インフルエンザ予防接種
6	メンタルヘルス研修
7	人間ドック補助
8	在宅健診、フィットネス利用への補助

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
疾病予防	1	事業所健康レポート	・特定健診データを基に事業所ごとの健康状況を分析。 ・健康課題を把握して必要な健康課題のアクションを促す。	全て	男女	40～74	被保険者	0	毎年7月組合会に事業主へ前年度実績を報告。	事業所単位の傾向が明示されることから周知しやすい。	年1回限りの周知であること。 事業所単位であることから、事業所の傾向を把握するのみ。	5
加入者への意識づけ												
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診	最終年度（令和11年度）までに健診受診率 被保険者92.5%、被扶養者34.0%、全体87.0%を目指す。	全て	男女	40～74	加入者全員		4年度 対象者数6,130名 受診者数4,755名 受診率77.6%	・被保険者は定期健診と併せて実施している	・被扶養者の実施率向上 ・特定健診の結果報告の遅滞 ・データの不備	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	最終年度（令和11年度）までに動機付け支援55.0%、積極的支援55.0%、全体55.0%を目指す。	全て	男女	40～74	基準該当者		4年度 【動機付け支援】 対象者数 440名 実施者数 114名 【積極的支援】 対象者数 450名 実施者数 168名 ----- 全体実施率 39%	・事業主が協力的 ・対象者名簿を事業主に渡して実施までの運用を事業所主体で行う。	・加入者へ保健指導について周知不足。 ・健診データの不備等により、保健指導の開始時期が遅くなる。	3
保健指導宣伝	2,4	受診勧奨	・健保組合からの受診勧奨に留まらず、事業所とも通知者情報を共有し、事業所からのアプローチも行い、重症化予防を推進していく。	全て	男女	30～74	基準該当者		・5年度通知者数270名 ・通知後6ヵ月経過後までに16.4%が受診。	・比較的高い年齢層は関心あり	・受診しない加入者は、事業主から受診を促したり、特定保健指導の際に保健師等から受診勧奨するなどの工夫が必要。	4
	5	機関紙発行	・ホームページのデータ掲載のみとし、冊子の廃止を検討する。 ・健保組合の実態（総医療費、特定保健指導の状況等）をわかりやすく情報提供する。	全て	男女	18～74	基準該当者		・機関紙発行：全8頁、年4回 ・被保険者に会社経由で配布	・タイムリーな情報提供により健保が実施する保健事業の周知及び参加率向上に寄与している。	・予防・医療費削減に注力 ・興味を持ってもらえる誌面作り	4
	7	後発医薬品の差額通知	・後発医薬品への切替余地のある対象者へ差額通知を実施し、後発医薬品への切替を促し、切替率50%以上を目指す。	全て	男女	0～74	加入者全員		・年2回実施（1ヵ月900円以上削減できる加入者が対象）	・意識づけの継続 ・切替後の削減金額を明記	・切替率は他健保組合とほぼ同程度。 ・対象者を減らすことが課題。	4
疾病予防	2,4	がん検診	・女性加入者が多い特性から、婦人科系がんの早期検査と発見は、加入者へのメリットが大きいことから、検査の啓蒙を図っていく。	全て	男女	30～74	基準該当者		・郵便検診は機関誌で募集 ・受診者数 5年度6493人（定期健診や郵便検診。人間ドックは未カウント）	・職場での定期健診実施時等、受診しやすい機会の提供。	・がん検診への関心が高いといえない。 ・周知不足	4
	3	人間ドック受診補助	・要再検査指摘者の放置群については、受診勧奨を行っていく。	全て	男女	30～74	基準該当者		・5年度受診者732人	・契約先の拡充 ・利用者負担額は原則、被保険者9,000円、被扶養者11,000円は他健保組合と比較して安価。	・受診料金の高騰。	4
	2,5	健康ウォーキング大会	・事業所によって参加率に大きな差があるので、極端に低い事業所を底上げして、健保組合全体で10%の参加率を目指す。	全て	男女	18～74	加入者全員		5年度 ・参加者数：575名 ・目標達成者数：465名	・事業所の協力 ・機関誌への掲載 ・3コース制により、自身の体力に合わせたエントリーが可能。	・新規参加者が少ない。 ・事業所により参加率に偏りがある。	3
	6	健康相談ほっとライン	・健康・医療・育児・介護相談や、メンタルヘルス相談も加え、医療機関の照会も可能とし、24時間、気軽に無料で相談できる総体的な医療相談のツールとする。 ・年間の相談件数目標90件以上	全て	男女	18～74	加入者全員		・5年度実績 78件	・事業主による周知の協力 ・年に2回、チラシとカードの配布 ・機関誌への掲載	・個人情報保護の性質上、利用したことによる効果が見えない。 ・利用率が低い。	3

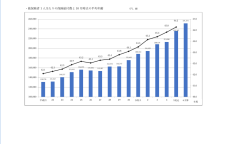
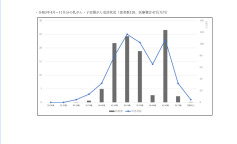
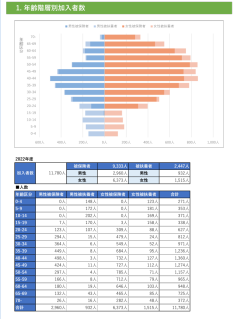
注1） 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2） 1．39%以下 2．40%以上 3．60%以上 4．80%以上 5．100%

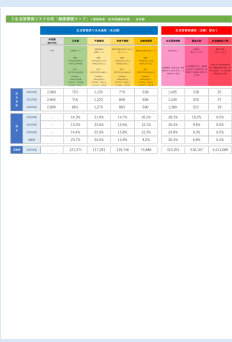
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく 健診	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	概ね4月～9月（地域により下期実施）	勤務時間中の受診可 休日の受診可	XMLデータに対応していない医療機関が地方は多い 土日の受診が不可 受診期間、回数が短い XMLデータ作成を外部に委託している医療機関はデータを事業所へ提出するまでに時間がかかる	有
特定業務従事者健康診断	安衛法に基づく 健診	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	概ね下期に実施	同上	-	無
産業医による長時間労働者に対する面談	安衛法に基づく	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	毎月1回（随時実施の事業所もあり）	勤務時間中または勤務時間外に相談可 会社以外の第三者に相談可	産業医選任義務事業所のみに限定 管理職は残業時間の概念がなく、超勤時間数の把握が困難 周知不足	無
ストレスチェック	安衛法に基づき実施	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	（労働者数が50名未満を除く）各事業所で8月～12月にかけて実施 面接等の申し出があった者や有所見者に対し、セルフケア研修の実施や、専門医の受診勧奨や、深夜業の制限など就業上の措置を行っている	-	-	無
インフルエンザ予防接種	○弘済会・・・全従業員、指定会場で接種 ○JR東日本クロスステーション・・・扶養家族も含む希望者（アルバイト以外）に保有ポイント数の範囲内で費用補助 ○JR北海道フレッシュキヨスク・・・共済組合加入者に補助金支給 ○四国キヨスク・・・全従業員に補助金支給	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	10月～12月に実施	全医療機関で接種可 勤務中の接種可 全額補助又は一部補助 費用補助により接種者増	地方は指定医療機関まで行かねばならない 契約医療機関まで遠く、交通費（自己負担）の負担が大きい事業所もある 現場勤務者の接種が少ない傾向	無
メンタルヘルス研修	○JR東日本クロスステーション・（年1回）	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	毎年1回	ラインケアだけでなく、セルフケアの研修も実施	対象者が限られる メンタルケアの知識は習得できるが、実際の対応は個人差がある	無
人間ドック補助	○JR北海道フレッシュキヨスク・・・共済組合加入者（6,000円補助） ○JR東日本クロスステーション・・・扶養家族も含む希望者（アルバイト以外）に保有ポイント数の範囲内で費用補助 ○JR九州リテール・・・胃カメラを実施した場合、上限3,000円補助	被保険者	男女	30～74	随時	-	周知不足のため、利用者が少ない	有
在宅健診、フィットネス利用への補助	○JR東日本リテールネット 在宅健診やフィットネスを利用した場合、保有ポイント数を上限に補助を実施	被保険者	男女	18～74	通年	在宅健診：休職者の受診機会が広がる フィットネス：補助金が出るため気軽に利用できる	フィットネス：すでに会員になっている場合は補助金を利用することができない	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

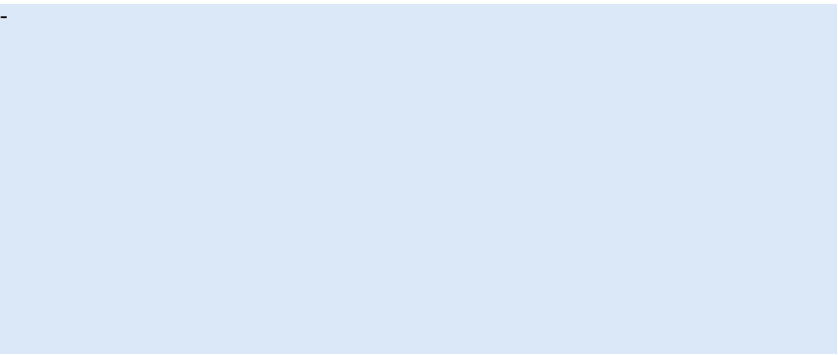
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		健康相談窓口（健康相談ホットライン）の相談件数	その他	-
イ		被保険者1人当たり保険給付費と平均年齢の推移	医療費・患者数分析	-
ウ		令和5年4月～11月分の乳がん・子宮頸がん受診状況	医療費・患者数分析	-
エ		年齢階層別加入者数	加入者構成の分析	-

オ



健康課題マップ 被保険者 全年齢

健康リスク分析

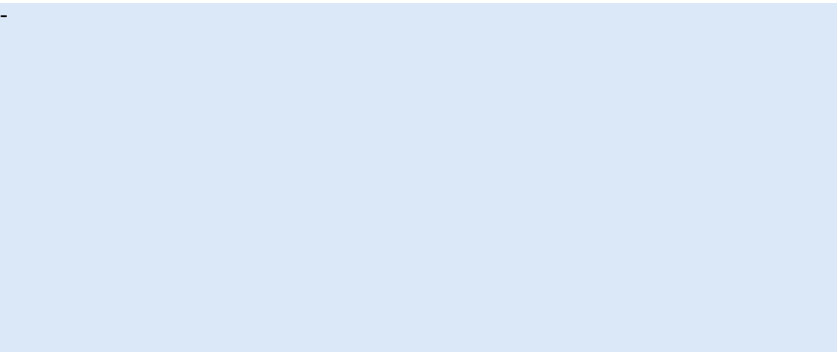


カ

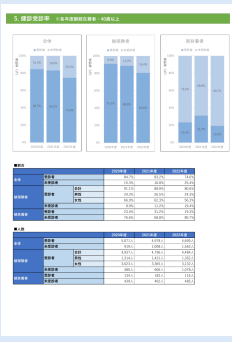


健康課題マップ 被保険者・40歳以上

健康リスク分析

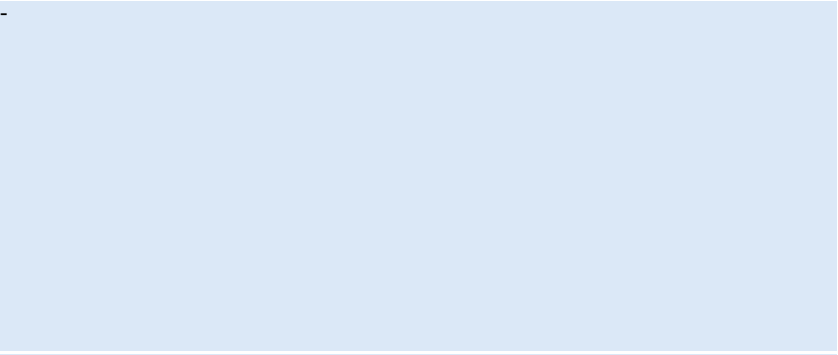


キ



健診受診率 40歳以上

特定健診分析

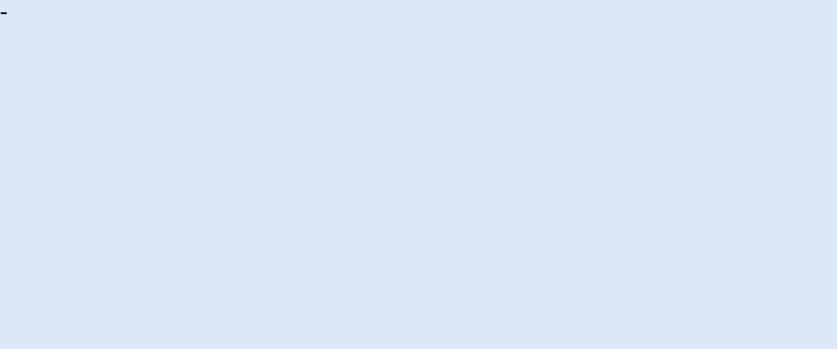


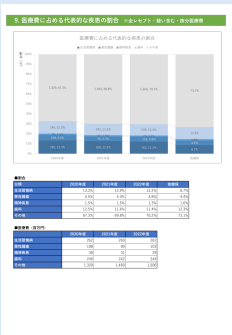
ク

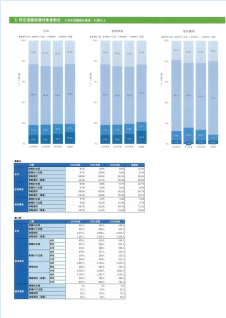
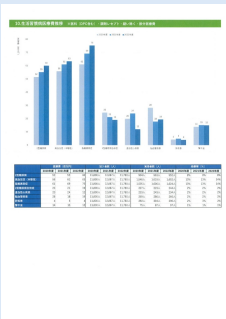
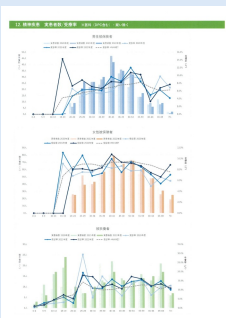
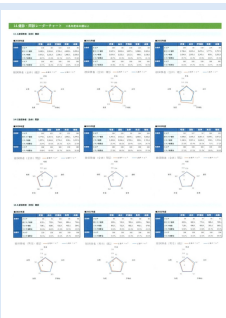


医療費推移

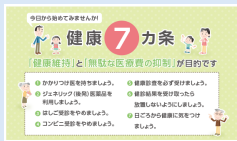
医療費・患者数分析



ケ		医療費 構成要素	医療費・患者数分析	-
コ		医療費に占める代表的な疾患の割合	医療費・患者数分析	-
サ		後発医薬品の数量割合	後発医薬品分析	-
シ		年齢加入者別構成	加入者構成の分析	-

ス		特定保健指導対象者割合	特定保健指導分析	-
セ		生活習慣病医療費推移	医療費・患者数分析	-
ソ		精神疾患 実患者数 受療率	医療費・患者数分析	-
タ		健診・問診レーダーチャート	健康リスク分析	-

チ



健康7カ条

その他

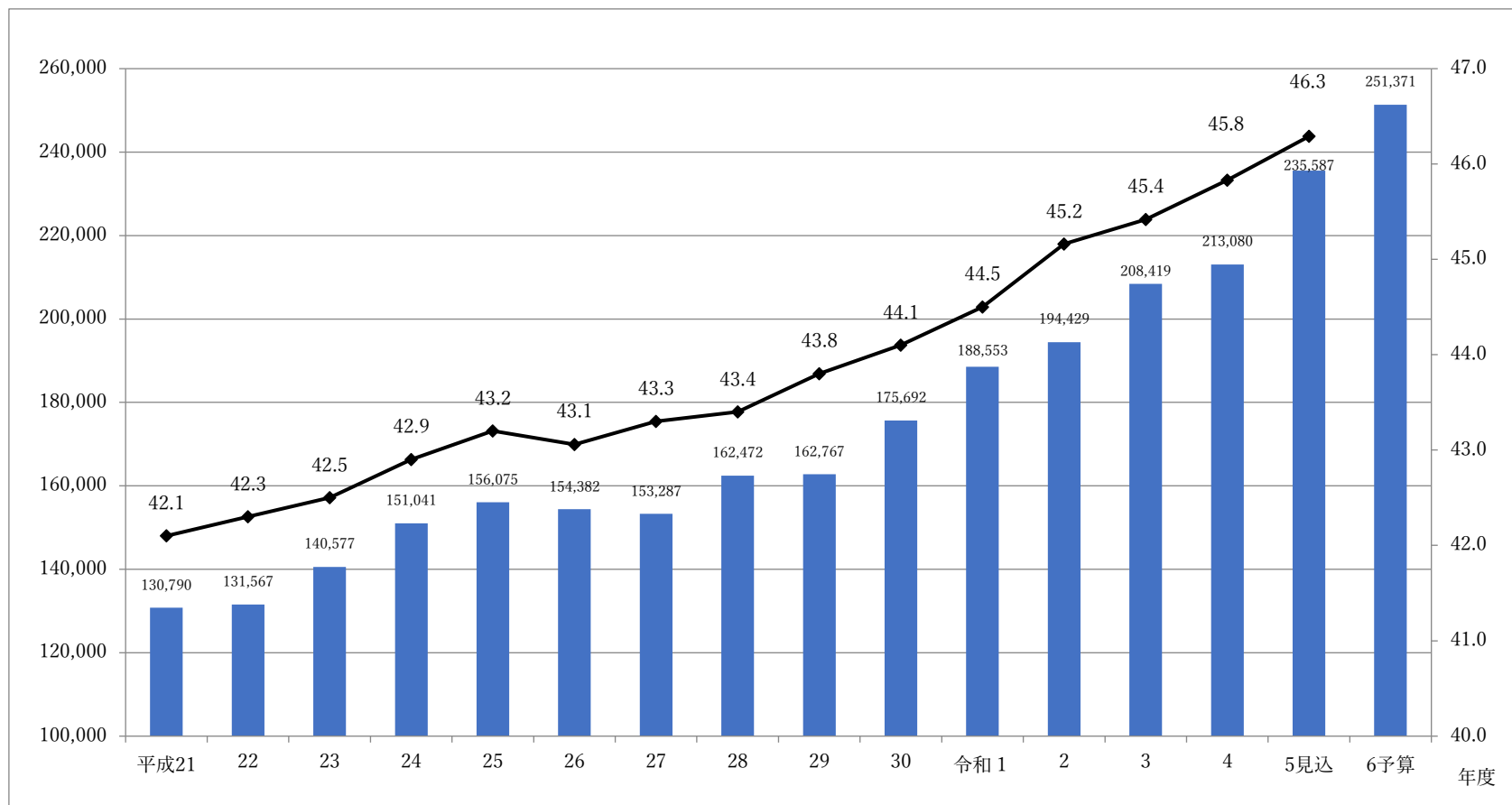
-

・健康相談窓口への相談件数

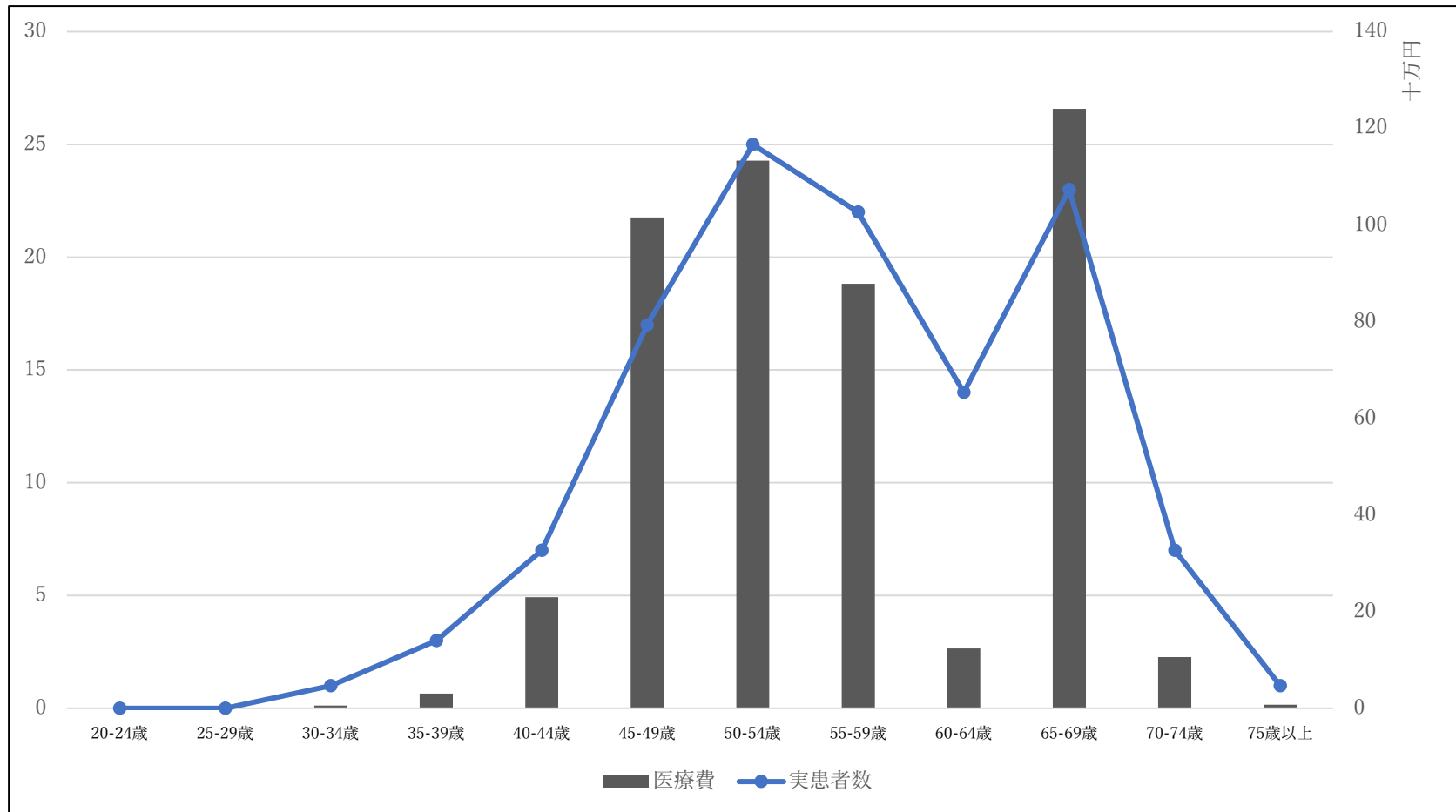
	年度	合計件数	メンタル	病気	その他 (育児・介護他)
心の健康相談ダイヤル	27年度	76	電話62、面談14	—	—
	28年度	98	電話75、面談23	—	—
	29年度	13	電話8、面談5	—	—
健康相談ほっとライン	30年度	25	11	6	8
	1 年度	35	6	14	15
	2 年度	13	3	6	4
	3 年度	21	4	6	11
	4 年度	64	35	4	25
	5 年度12月末まで (5年度目標)	66 (90)	40	11	15

・被保険者 1 人当たりの保険給付費と 10 月時点の平均年齢

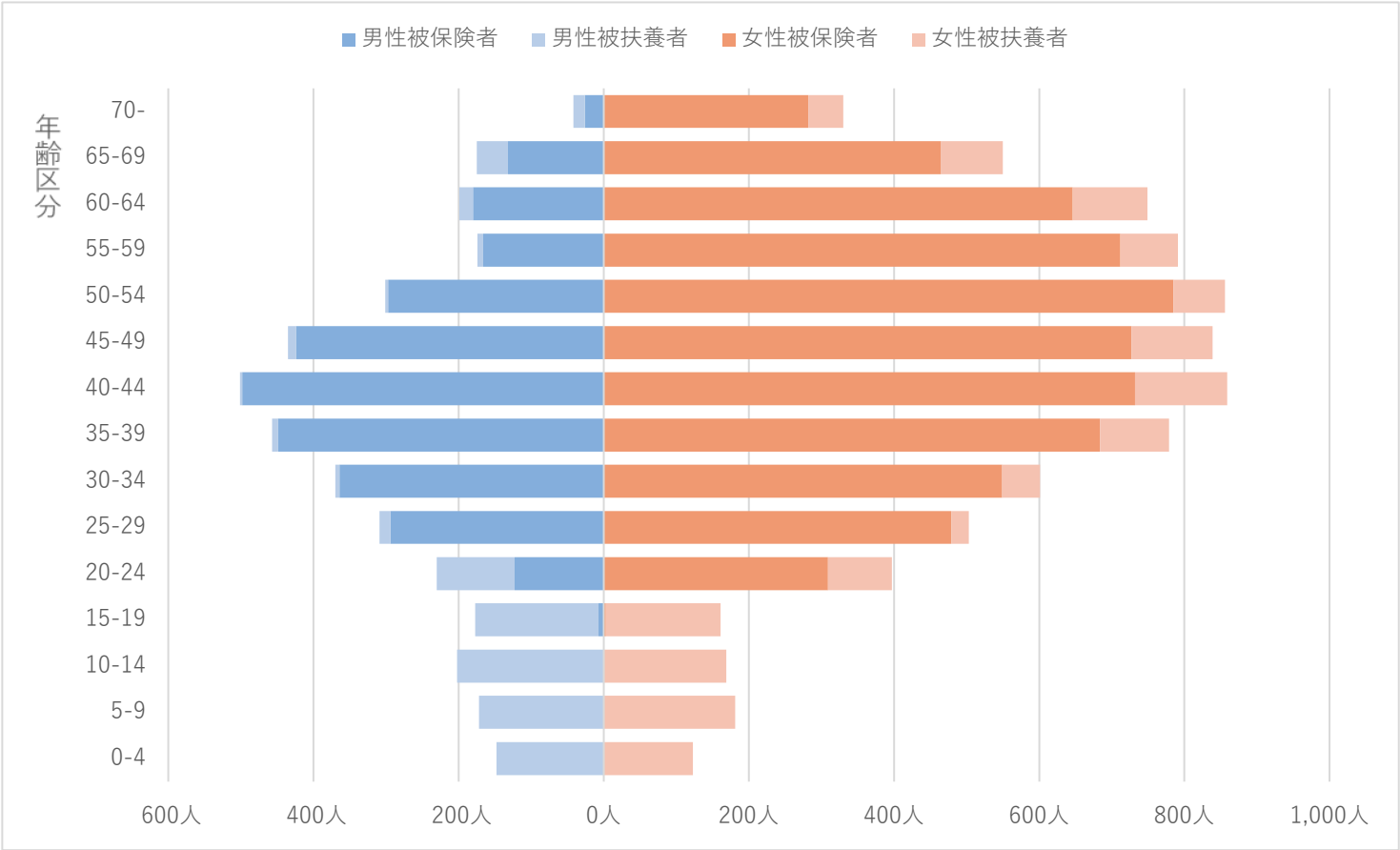
(円、歳)



・令和5年4月～11月分の乳がん・子宮頸がん受診状況（患者数120、医療費計47百万円）



1. 年齢階層別加入者数



2022年度

加入者数	11,780人	被保険者	9,333人	被扶養者	2,447人
		男性	2,960人	男性	932人
		女性	6,373人	女性	1,515人

■人数

年齢区分	男性被保険者	男性被扶養者	女性被保険者	女性被扶養者	合計
0-4	0人	148人	0人	123人	271人
5-9	0人	172人	0人	181人	353人
10-14	0人	202人	0人	169人	371人
15-19	7人	170人	3人	158人	338人
20-24	123人	107人	309人	88人	627人
25-29	294人	15人	479人	24人	812人
30-34	364人	6人	549人	52人	971人
35-39	449人	8人	684人	95人	1,236人
40-44	498人	3人	732人	127人	1,360人
45-49	424人	11人	727人	112人	1,274人
50-54	297人	4人	785人	71人	1,157人
55-59	166人	8人	712人	79人	965人
60-64	180人	19人	646人	103人	948人
65-69	132人	43人	465人	85人	725人
70-	26人	16人	282人	48人	372人
合計	2,960人	932人	6,373人	1,515人	11,780人

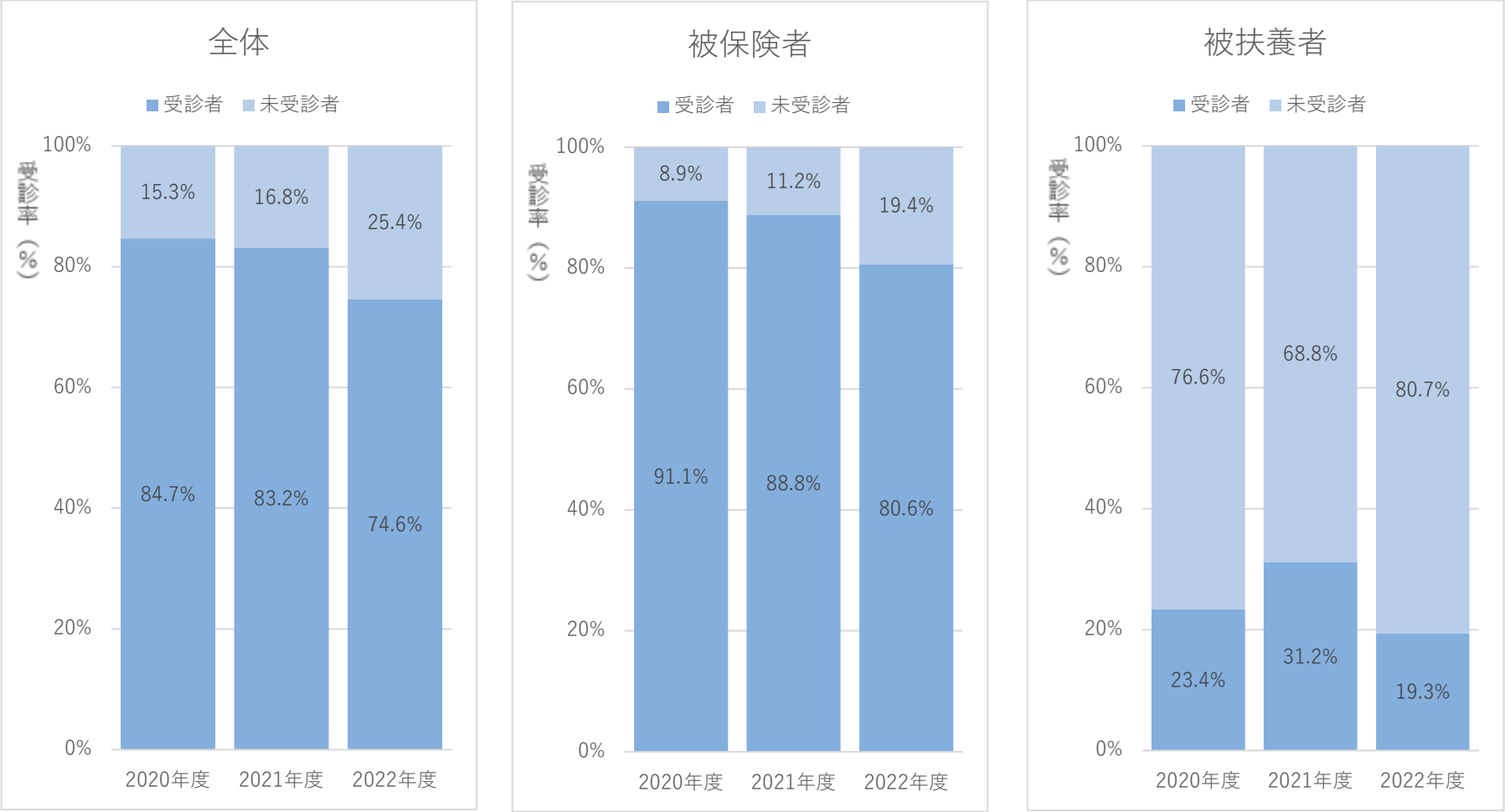
3.生活習慣病リスク分布「健康課題マップ」※被保険者（各年度継続在籍）・全年齢

生活習慣病では未通院（未治療）							生活習慣病通院（治療）歴あり		
未把握 （健診未受診）		正常群	不健康群	患者予備群	治療放置群		生活習慣病群	重症化群	生活機能低下群
不明		正常値レベル 血糖： 110mg/dl未満又は HbA1c5.6%未満 血圧： 85/130mmHg未満 中性脂肪： 150mg/dl未満 又はLDL：120未満 又はHDL：40以上	保健指導が 必要なレベル 血糖： 110mg/dl以上又は HbA1c5.6%以上 血圧： 85又は130mmHg以上 中性脂肪： 150mg/dl以上 又はLDL：120以上 又はHDL：40未満	病院で診察を受けたほうが 良いレベル 血糖： 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上 血圧： 90又は140mmHg以上 中性脂肪： 300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	治療する必要があるレベル 血糖： 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 血圧： 100又は160mmHg以上 中性脂肪： 400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満		合併症はない 2型糖尿病・高血圧症・脂質 異常症のいずれかがあり、合 併症はない状態	合併症に 進行しています 生活習慣病があり、糖尿病 性合併症・脳血管疾患・動 脈疾患・虚血性心疾患があ る状態	重篤な状態 になっています 入院を伴う四肢切断急性 期・冠動脈疾患急性期・脳 卒中急性期、および透析期 （通院含む）の状態
該 当 者 数	2022年度	2,960	753	1,155	779	538	1,495	538	25
	2021年度	2,844	716	1,223	848	658	1,430	520	27
	2020年度	2,809	803	1,279	883	690	1,389	521	29
割 合	2022年度	-	14.3%	21.9%	14.7%	10.2%	28.3%	10.2%	0.5%
	2021年度	-	13.2%	22.6%	15.6%	12.1%	26.4%	9.6%	0.5%
	2020年度	-	14.4%	22.9%	15.8%	12.3%	24.8%	9.3%	0.5%
	他健保	-	23.7%	24.5%	14.9%	9.2%	20.4%	6.8%	0.4%
医療費	2022年度	-	121,371	117,291	119,746	74,886	315,201	516,107	3,411,689

4.生活習慣病リスク分布「健康課題マップ」※被保険者（各年度継続在籍）・40歳以上

生活習慣病では未通院（未治療）							生活習慣病通院（治療）歴あり		
未把握 （健診未受診）		正常群	不健康群	患者予備群	治療放置群		生活習慣病群	重症化群	生活機能低下群
不明		正常値レベル 血糖： 110mg/dl未満又は HbA1c5.6%未満 血圧： 85/130mmHg未満 中性脂肪： 150mg/dl未満 又はLDL：120未満 又はHDL：40以上	保健指導が 必要なレベル 血糖： 110mg/dl以上又は HbA1c5.6%以上 血圧： 85又は130mmHg以上 中性脂肪： 150mg/dl以上 又はLDL：120以上 又はHDL：40未満	病院で診察を受けたほうが 良いレベル 血糖： 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上 血圧： 90又は140mmHg以上 中性脂肪： 300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	治療する必要があるレベル 血糖： 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上 血圧： 100又は160mmHg以上 中性脂肪： 400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満		合併症はない 2型糖尿病・高血圧症・脂質 異常症のいずれかがあり、合 併症はない状態	合併症に 進行しています 生活習慣病があり、糖尿病 性合併症・脳血管疾患・動 脈疾患・虚血性心疾患があ る状態	重篤な状態 になっています 入院を伴う四肢切断急性 期・冠動脈疾患急性期・脳 卒中急性期、および透析期 (通院含む)の状態
該 当 者 数	2022年度	687	620	1,093	752	522	1,355	509	24
	2021年度	398	600	1,155	815	631	1,290	487	26
	2020年度	299	651	1,206	843	656	1,254	481	27
割 合	2022年度	-	12.7%	22.4%	15.4%	10.7%	27.8%	10.4%	0.5%
	2021年度	-	12.0%	23.1%	16.3%	12.6%	25.8%	9.7%	0.5%
	2020年度	-	12.7%	23.6%	16.5%	12.8%	24.5%	9.4%	0.5%
	他健保	-	14.0%	22.9%	16.2%	10.5%	26.5%	9.4%	0.5%
医療費	2022年度	-	122,877	118,046	118,995	75,831	311,110	521,823	3,337,440

5. 健診受診率 ※各年度継続在籍者・40歳以上



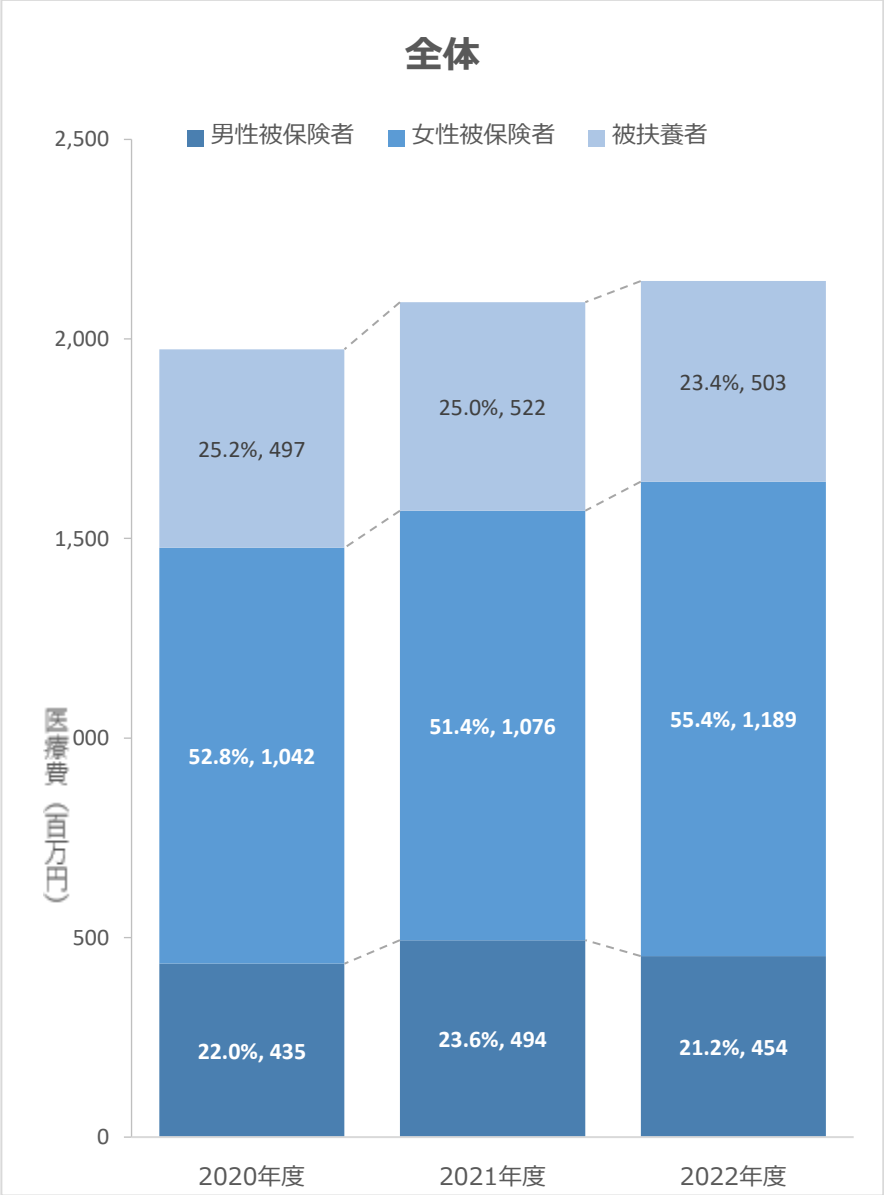
■割合

			2020年度	2021年度	2022年度
全体	受診者		84.7%	83.2%	74.6%
	未受診者		15.3%	16.8%	25.4%
被保険者	受診者	合計	91.1%	88.8%	80.6%
		男性	24.3%	26.5%	24.3%
		女性	66.9%	62.3%	56.3%
	未受診者		8.9%	11.2%	19.4%
被扶養者	受診者		23.4%	31.2%	19.3%
	未受診者		76.6%	68.8%	80.7%

■人数

			2020年度	2021年度	2022年度
全体	受診者		5,071人	4,978人	4,600人
	未受診者		919人	1,008人	1,563人
被保険者	受診者	合計	4,937人	4,796人	4,484人
		男性	1,314人	1,431人	1,352人
		女性	3,623人	3,365人	3,132人
	未受診者		480人	606人	1,078人
被扶養者	受診者		134人	182人	116人
	未受診者		439人	402人	485人

7. 医療費推移



■割合

	2020年度	2021年度	2022年度
被保険者	74.8%	75.0%	76.6%
男性	22.0%	23.6%	21.2%
女性	52.8%	51.4%	55.4%
被扶養者	25.2%	25.0%	23.4%
男性	11.0%	9.2%	8.1%
女性	14.2%	15.7%	15.3%

■医療費（百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度
被保険者	1,477	1,570	1,643
男性	435	494	454
女性	1,042	1,076	1,189
被扶養者	497	522	503
男性	216	193	174
女性	281	329	329

8. 医療費 構成要素

■年間医療費（百万円）		対前年度変化率
2022年度	2,145	+2.5%
2021年度	2,092	

■加入者数（人）		対前年度変化率
2022年度	11,780	-2.4%
2021年度	12,067	

■受療率		対前年度変化率
2022年度	86.8%	+3.0%
2021年度	83.8%	

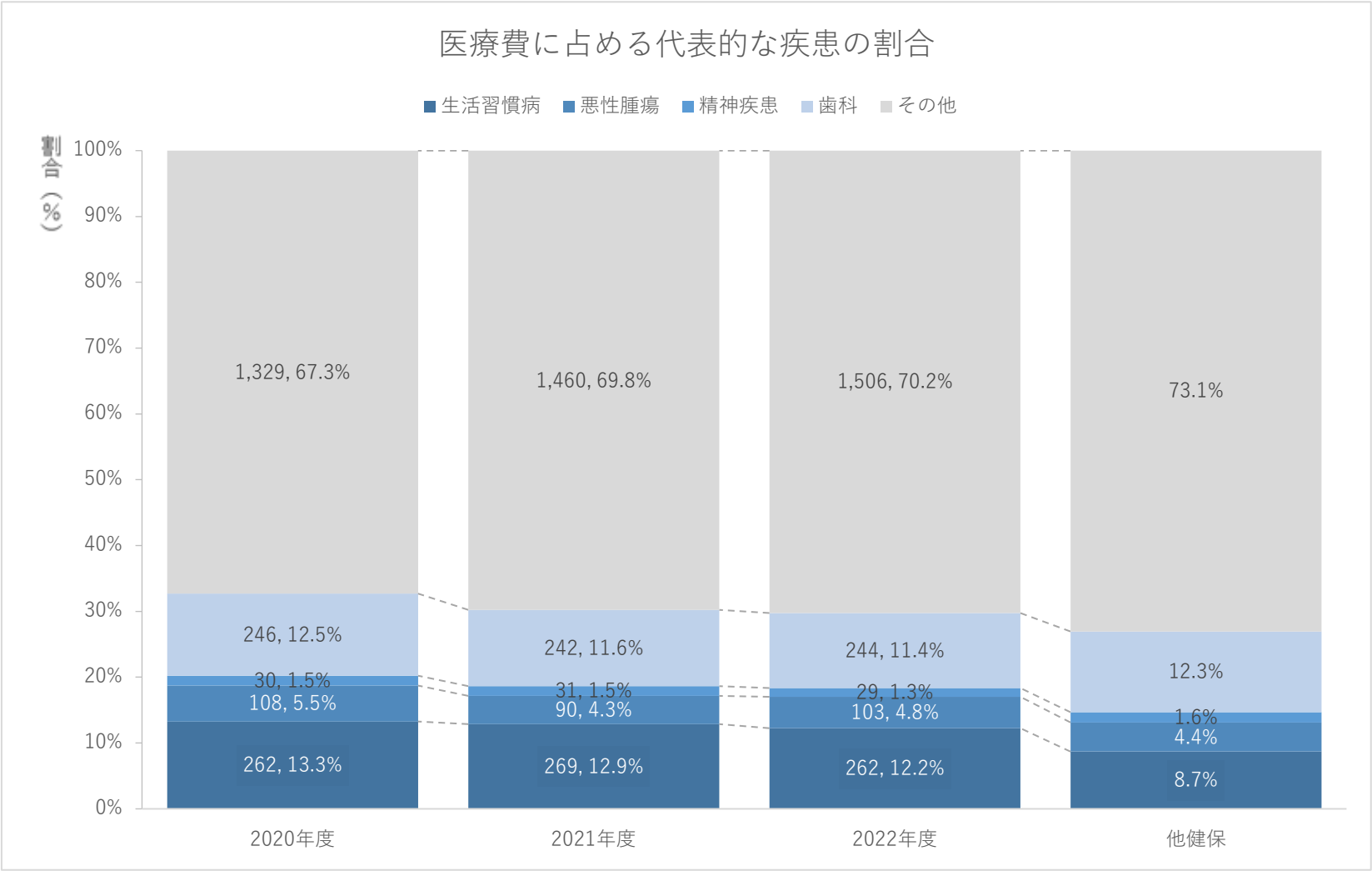
■加入者あたり医療費（円）		対前年度変化率
2022年度	182,161	+5.0%
2021年度	173,422	

■患者あたり医療費（円）		対前年度変化率
2022年度	209,823	+1.4%
2021年度	206,971	

- ・ 加入者あたり医療費：分析対象期間における加入者一人あたりの医療費
 - ・ 患者あたり医療費：分析対象期間における患者一人あたりの医療費
 - ・ 患者あたり受診日数：分析対象期間における患者一人あたりの受診日数

■患者あたり受診日数（日）		対前年度変化率
2022年度	13.3	+2.4%
2021年度	13.0	

9. 医療費に占める代表的な疾患の割合 ※全レセプト・疑い含む・按分医療費



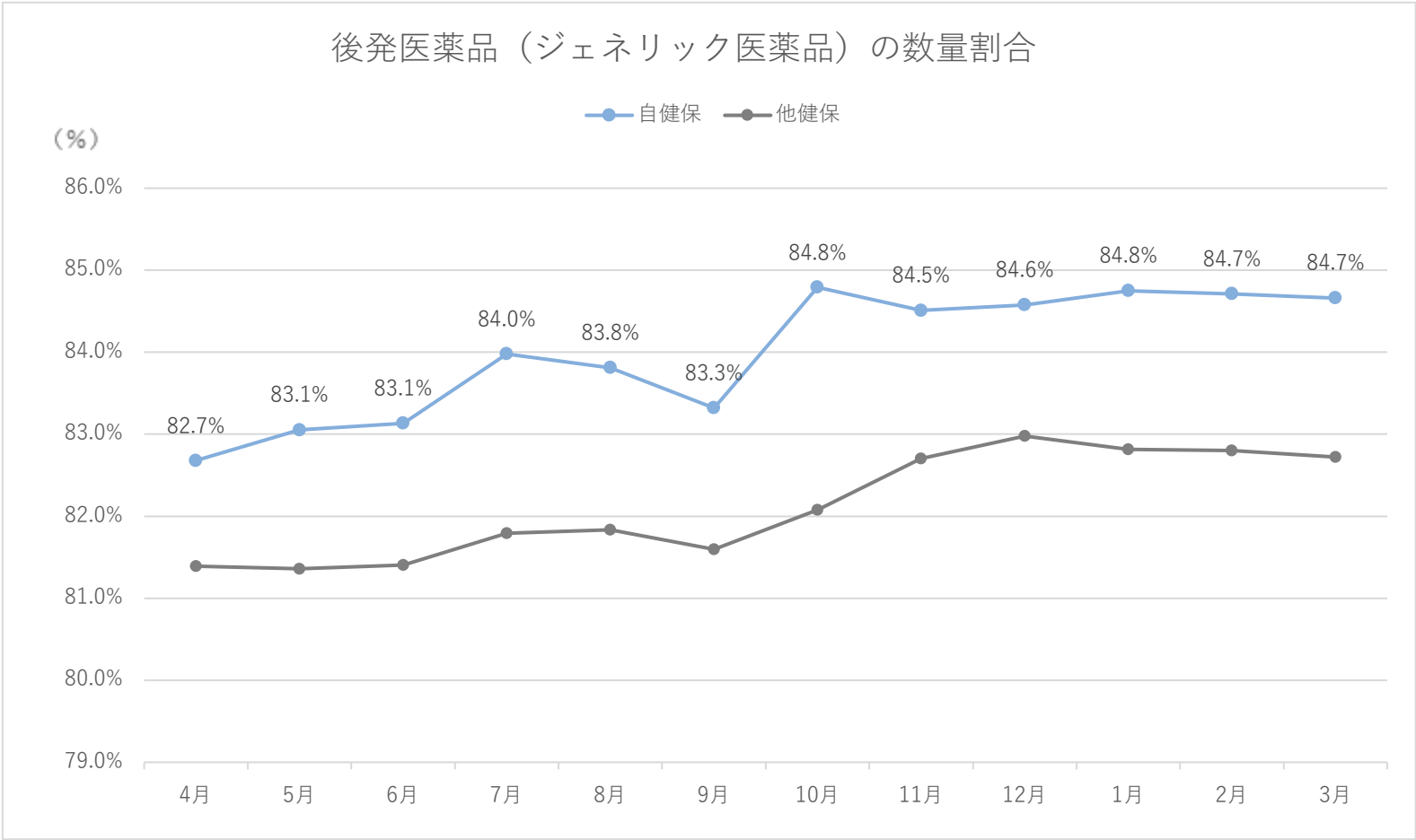
■割合

分類	2020年度	2021年度	2022年度	他健保
生活習慣病	13.3%	12.9%	12.2%	8.7%
悪性腫瘍	5.5%	4.3%	4.8%	4.4%
精神疾患	1.5%	1.5%	1.3%	1.6%
歯科	12.5%	11.6%	11.4%	12.3%
その他	67.3%	69.8%	70.2%	73.1%

■医療費（百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度
生活習慣病	262	269	262
悪性腫瘍	108	90	103
精神疾患	30	31	29
歯科	246	242	244
その他	1,329	1,460	1,506

13. 後発医薬品（ジェネリック医薬品） 数量割合



■数量割合（％）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
自健保	全レセプト	82.7%	83.1%	83.1%	84.0%	83.8%	83.3%	84.8%	84.5%	84.6%	84.8%	84.7%	84.7%	84.0%
	医科入院（DPC含む）	81.4%	79.6%	80.6%	84.0%	85.0%	88.4%	89.8%	89.6%	92.3%	87.1%	85.0%	89.6%	86.0%
	医科入院外	70.1%	69.7%	70.0%	72.4%	72.1%	68.3%	73.0%	71.1%	70.8%	70.6%	70.4%	68.9%	70.6%
	調剤	85.2%	85.7%	85.8%	86.3%	86.1%	86.1%	87.0%	87.0%	86.9%	87.4%	87.2%	87.1%	86.5%
	歯科	59.7%	49.5%	47.3%	55.9%	53.6%	46.5%	49.1%	51.2%	44.2%	50.2%	61.1%	53.8%	51.8%
他健保	全レセプト	81.4%	81.4%	81.4%	81.8%	81.8%	81.6%	82.1%	82.7%	83.0%	82.8%	82.8%	82.7%	82.1%
	医科入院（DPC含む）	84.5%	84.9%	84.9%	83.7%	84.2%	83.8%	83.7%	84.7%	84.7%	83.7%	83.8%	84.3%	84.2%
	医科入院外	67.4%	67.0%	67.0%	67.6%	67.9%	66.9%	67.1%	67.8%	68.7%	68.2%	67.8%	68.7%	67.7%
	調剤	84.1%	84.1%	84.2%	84.6%	84.6%	84.4%	84.8%	85.4%	85.5%	85.5%	85.4%	85.2%	84.8%
	歯科	49.6%	49.4%	50.2%	50.1%	49.6%	49.0%	49.4%	49.8%	49.6%	49.6%	51.6%	52.4%	49.9%

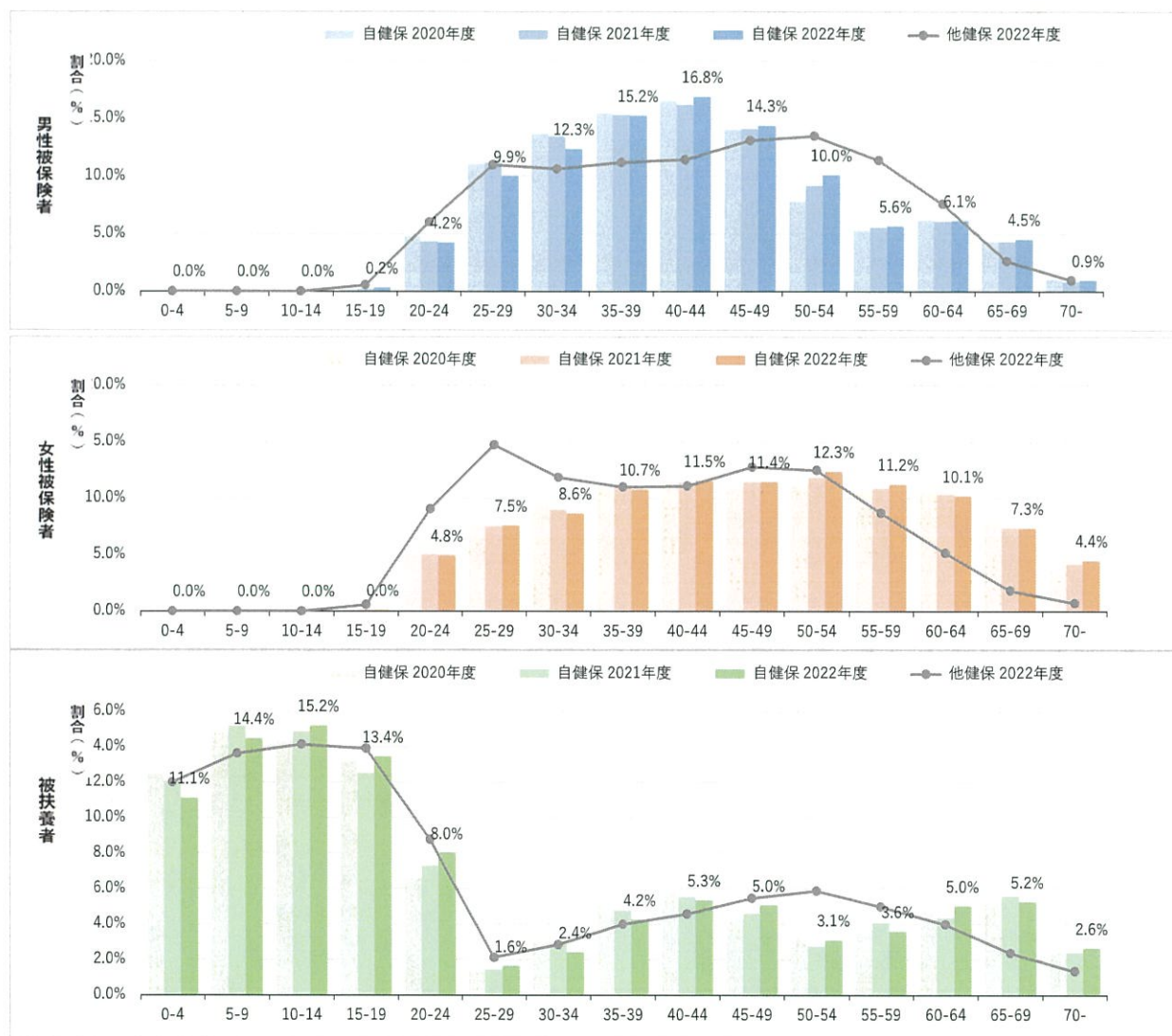
後発医薬品の
数量シェア(置換え率)

=

後発医薬品の数量

後発医薬品がある先発医薬品の数量＋ 後発医薬品の数量

2. 年齢階層別加入者構成割合



	平均年齢				男女比					
	全体	男性被保険者	女性被保険者	被扶養者	男性_全体	女性_全体	男性被保険者	女性被保険者	男性被扶養者	女性被扶養者
自健保2022年度	42	43	47	26	33.0%	67.0%	31.7%	68.3%	38.1%	61.9%
自健保2021年度	41	42	47	26	32.8%	67.2%	31.5%	68.5%	37.4%	62.6%
自健保2020年度	41	42	47	26	32.0%	68.0%	30.6%	69.4%	37.4%	62.6%
他健保2022年度	35	44	41	26	52.9%	47.1%	65.9%	34.1%	35.5%	64.5%

■男性被保険者

年齢区分	自健保			他健保
	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度
0-4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5-9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10-14	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15-19	0.1%	0.1%	0.2%	0.6%
20-24	4.7%	4.3%	4.2%	6.0%
25-29	11.0%	11.1%	9.9%	11.0%
30-34	13.6%	13.4%	12.3%	10.6%
35-39	15.4%	15.2%	15.2%	11.2%
40-44	16.5%	16.1%	16.8%	11.4%
45-49	14.0%	14.0%	14.3%	13.1%
50-54	7.8%	9.1%	10.0%	13.5%
55-59	5.3%	5.5%	5.6%	11.4%
60-64	6.2%	6.0%	6.1%	7.6%
65-69	4.3%	4.3%	4.5%	2.6%
70-	1.0%	0.8%	0.9%	1.0%

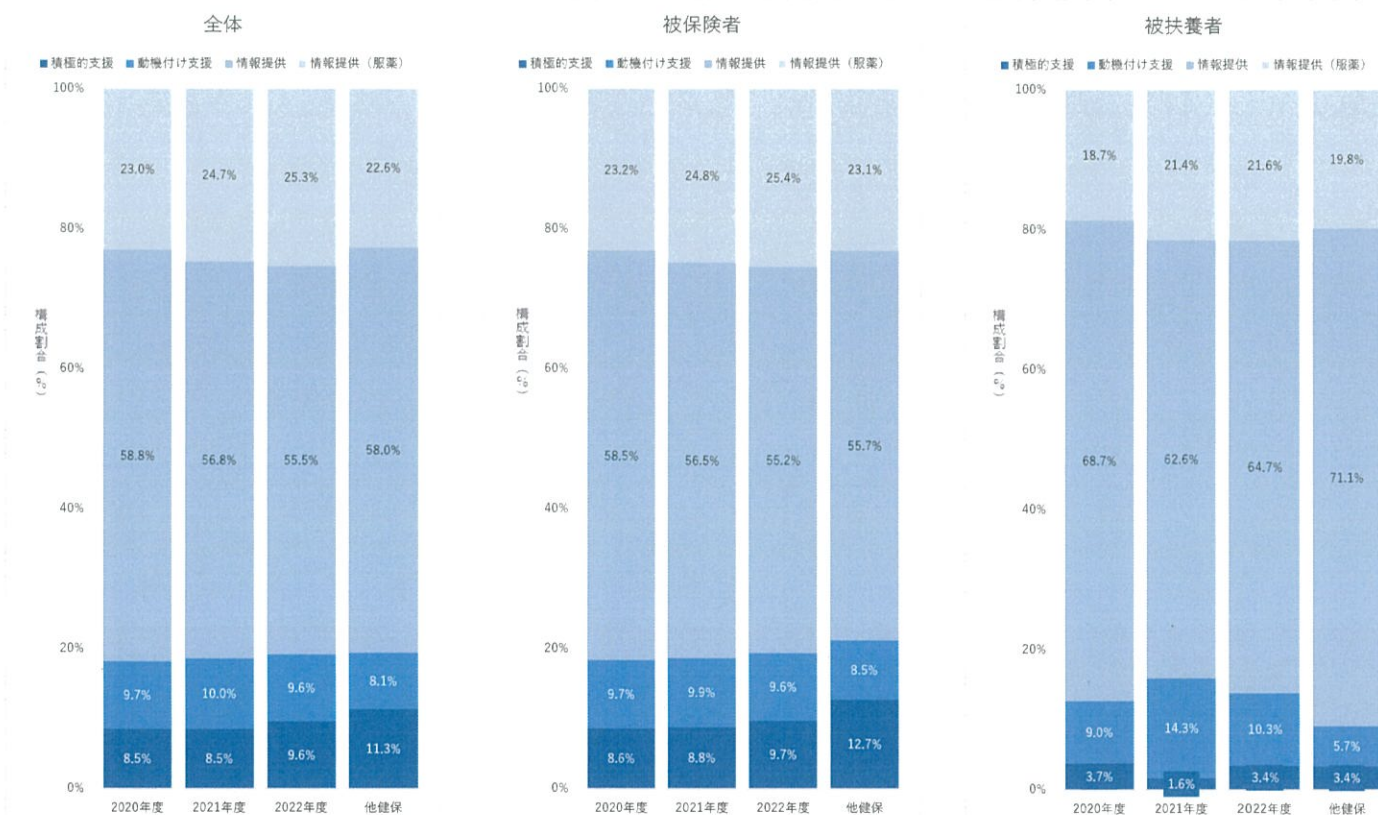
■女性被保険者

年齢区分	自健保			他健保
	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度
0-4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5-9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10-14	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15-19	0.2%	0.1%	0.0%	0.6%
20-24	5.2%	5.0%	4.8%	9.0%
25-29	7.7%	7.5%	7.5%	14.7%
30-34	9.4%	9.0%	8.6%	11.9%
35-39	11.1%	11.1%	10.7%	11.0%
40-44	11.5%	11.4%	11.5%	11.1%
45-49	11.0%	11.4%	11.4%	12.8%
50-54	11.3%	11.8%	12.3%	12.5%
55-59	10.7%	10.8%	11.2%	8.7%
60-64	10.5%	10.3%	10.1%	5.2%
65-69	7.9%	7.4%	7.3%	1.8%
70-	3.6%	4.1%	4.4%	0.7%

■被扶養者

年齢区分	自健保			他健保
	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度
0-4	12.5%	12.0%	11.1%	12.0%
5-9	14.8%	15.2%	14.4%	13.6%
10-14	14.3%	14.8%	15.2%	14.1%
15-19	13.2%	12.5%	13.4%	13.9%
20-24	6.6%	7.3%	8.0%	8.8%
25-29	1.4%	1.4%	1.6%	2.1%
30-34	2.9%	2.9%	2.4%	2.9%
35-39	5.0%	4.7%	4.2%	4.0%
40-44	5.7%	5.5%	5.3%	4.6%
45-49	4.3%	4.6%	5.0%	5.5%
50-54	3.2%	2.7%	3.1%	5.9%
55-59	3.7%	4.1%	3.6%	5.0%
60-64	4.7%	4.3%	5.0%	4.0%
65-69	5.4%	5.6%	5.2%	2.4%
70-	2.4%	2.4%	2.6%	1.3%

6. 特定保健指導対象者割合 ※各年度継続在籍者・40歳以上



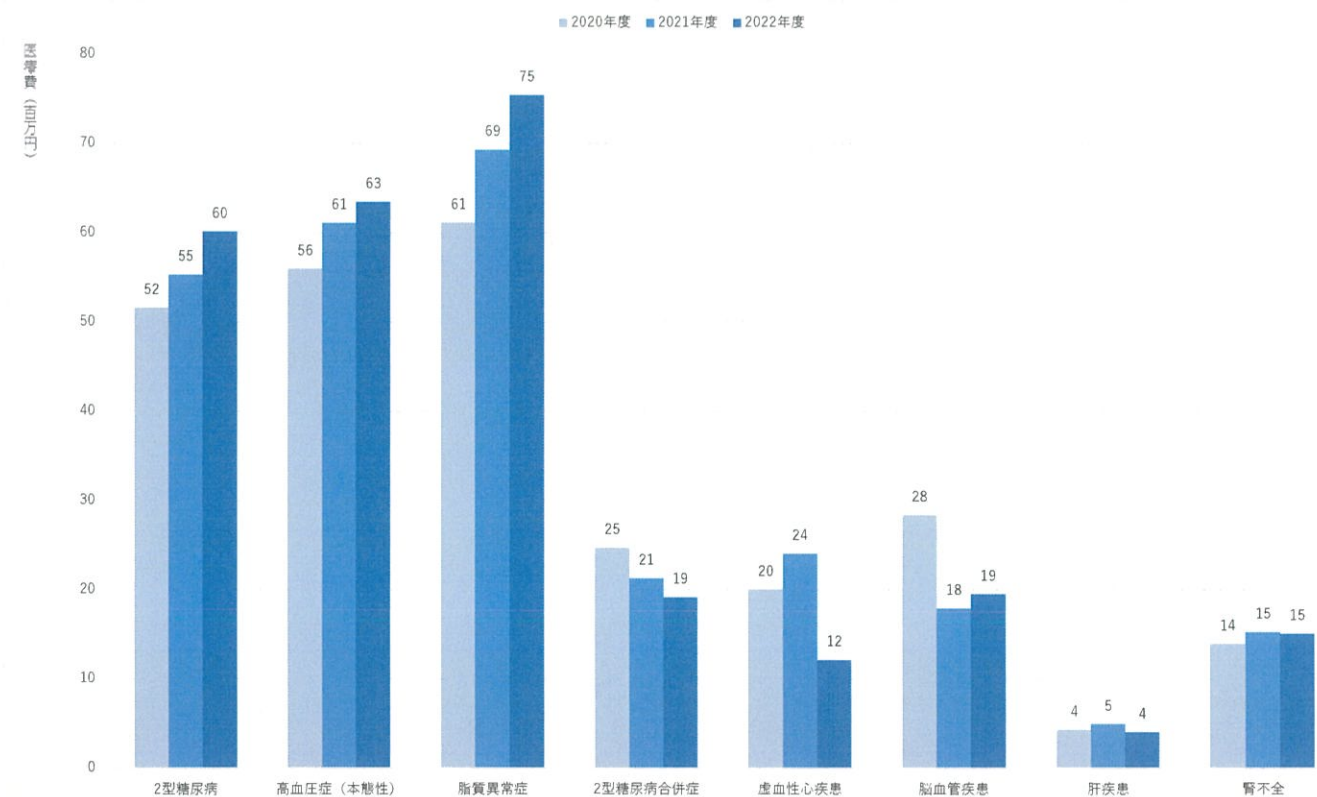
■割合

分類		2020年度	2021年度	2022年度	他健保
全体	積極の支援	8.5%	8.5%	9.6%	11.3%
	動機付け支援	9.7%	10.0%	9.6%	8.1%
	情報提供	58.8%	56.8%	55.5%	58.0%
	情報提供（服薬）	23.0%	24.7%	25.3%	22.6%
被保険者	積極の支援	8.6%	8.8%	9.7%	12.7%
	動機付け支援	9.7%	9.9%	9.6%	8.5%
	情報提供	58.5%	56.5%	55.2%	55.7%
	情報提供（服薬）	23.2%	24.8%	25.4%	23.1%
被扶養者	積極の支援	3.7%	1.6%	3.4%	3.4%
	動機付け支援	9.0%	14.3%	10.3%	5.7%
	情報提供	68.7%	62.6%	64.7%	71.1%
	情報提供（服薬）	18.7%	21.4%	21.6%	19.8%

■人数

分類		2020年度	2021年度	2022年度
全体	積極の支援	431人	423人	440人
	動機付け支援	490人	498人	443人
	情報提供	2,979人	2,818人	2,551人
	情報提供（服薬）	1,167人	1,226人	1,166人
被保険者	積極の支援	合計	426人	420人
		男性	207人	238人
		女性	219人	199人
	動機付け支援	合計	478人	472人
		男性	134人	136人
		女性	344人	336人
	情報提供	合計	2,887人	2,704人
		男性	668人	669人
		女性	2,219人	2,035人
	情報提供（服薬）	合計	1,142人	1,187人
		男性	305人	385人
		女性	837人	802人
被扶養者	積極の支援	5人	3人	4人
	動機付け支援	12人	26人	12人
	情報提供	92人	114人	75人
	情報提供（服薬）	25人	39人	25人

10.生活習慣病医療費推移 ※医科（DPC含む）・調剤レセプト・疑い除く・按分医療費



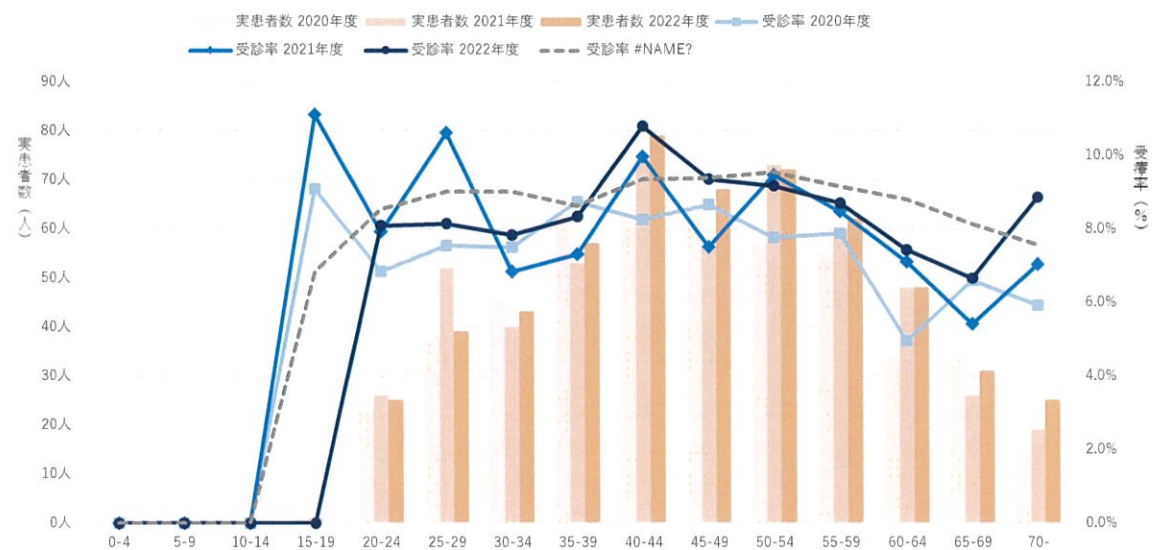
	医療費（百万円）			加入者数（人）			実患者数（人）			受療率（％）		
	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度
2型糖尿病	52	55	60	11,800人	12,067人	11,780人	904人	963人	952人	8%	8%	8%
高血圧症（本態性）	56	61	63	11,800人	12,067人	11,780人	1,540人	1,619人	1,652人	13%	13%	14%
脂質異常症	61	69	75	11,800人	12,067人	11,780人	1,535人	1,606人	1,624人	13%	13%	14%
2型糖尿病合併症	25	21	19	11,800人	12,067人	11,780人	227人	223人	244人	2%	2%	2%
虚血性心疾患	20	24	12	11,800人	12,067人	11,780人	233人	243人	234人	2%	2%	2%
脳血管疾患	28	18	19	11,800人	12,067人	11,780人	269人	286人	266人	2%	2%	2%
肝疾患	4	5	4	11,800人	12,067人	11,780人	292人	304人	290人	2%	3%	2%
腎不全	14	15	15	11,800人	12,067人	11,780人	75人	87人	97人	1%	1%	1%

12. 精神疾患 実患者数/受療率 ※医科（DPC含む）・疑い除く

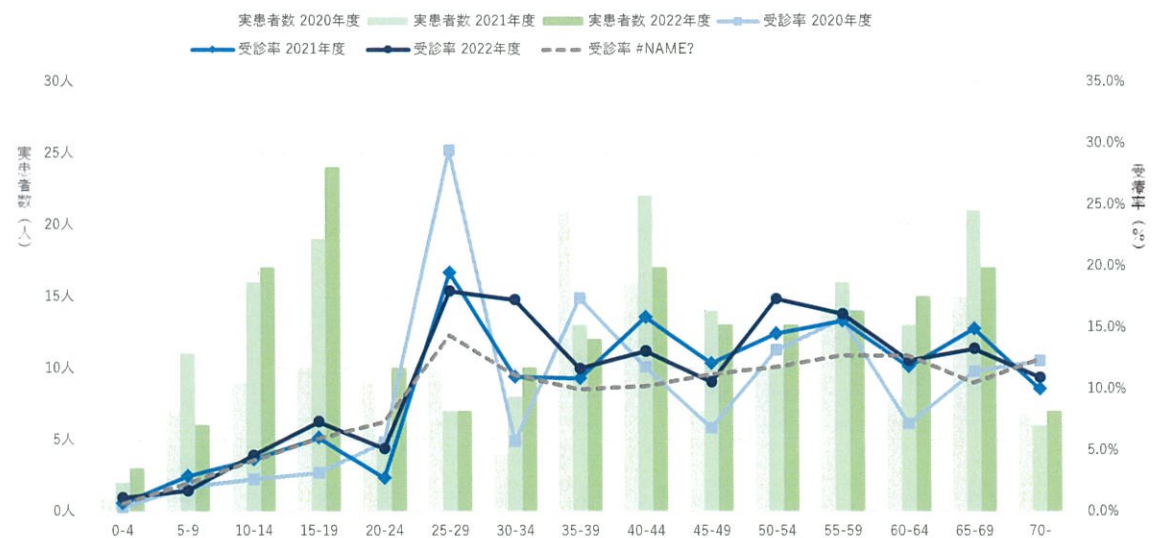
男性被保険者



女性被保険者



被扶養者



14.健診・問診レーダーチャート ※各年度末40歳以上

14-1.被保険者（全体）健診

■2020年度

自健保	スコア	肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
非リスク者数		110	88	144	114	85
リスク者数		3,045人	2,904人	3,795人	4,052人	3,095人
リスク者割合		40.7%	43.4%	26.1%	21.1%	39.6%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		44.7%	38.4%	37.6%	24.0%	34.2%

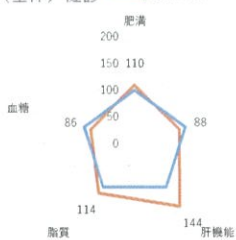
■2021年度

自健保	スコア	肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
非リスク者数		108	86	138	114	84
リスク者数		2,947人	2,819人	3,657人	3,988人	2,923人
リスク者割合		40.7%	43.3%	26.4%	19.7%	41.1%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		44.0%	37.1%	36.4%	22.5%	34.5%

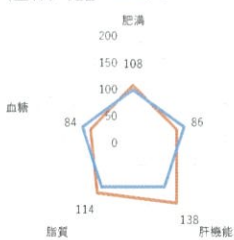
■2022年度

自健保	スコア	肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
非リスク者数		109	86	140	119	88
リスク者数		2,786人	2,613人	3,473人	3,777人	2,797人
リスク者割合		39.7%	43.4%	24.8%	18.2%	39.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		43.4%	37.2%	34.6%	21.7%	34.5%

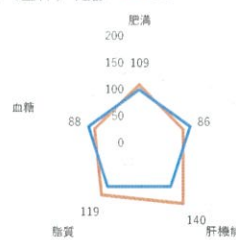
被保険者（全体）健診



被保険者（全体）健診



被保険者（全体）健診



14-2.被保険者（全体）問診

■2020年度

自健保	スコア	喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
非リスク者数		103	102	92	105	106
リスク者数		3,779人	1,507人	3,127人	4,691人	3,379人
リスク者割合		26.4%	69.1%	36.2%	6.2%	32.6%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		28.8%	69.5%	30.7%	10.9%	36.6%

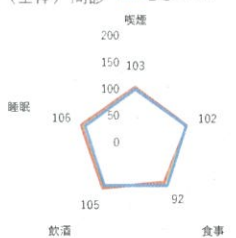
■2021年度

自健保	スコア	喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
非リスク者数		104	101	92	104	104
リスク者数		3,707人	1,514人	3,016人	4,583人	3,204人
リスク者割合		25.4%	68.2%	36.4%	6.6%	34.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		27.9%	68.5%	30.9%	10.5%	37.3%

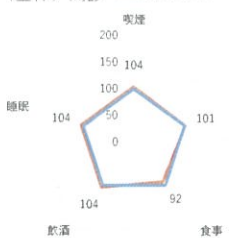
■2022年度

自健保	スコア	喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
非リスク者数		102	107	92	104	102
リスク者数		3,438人	1,555人	2,857人	4,244人	2,871人
リスク者割合		25.6%	65.4%	36.5%	7.1%	37.2%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		27.1%	67.5%	31.2%	10.6%	38.5%

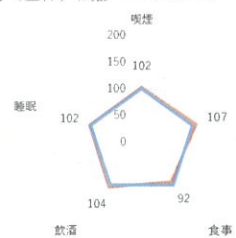
被保険者（全体）問診



被保険者（全体）問診



被保険者（全体）問診



14-3.被保険者（男性）健診

■2020年度

自健保	スコア	肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
非リスク者数		96	92	101	85	90
リスク者数		613人	723人	734人	884人	764人
リスク者割合		54.6%	46.5%	45.6%	34.5%	43.3%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		52.6%	42.6%	46.1%	29.4%	38.9%

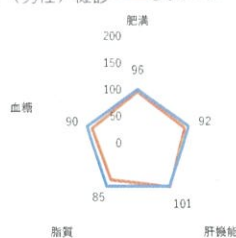
■2021年度

自健保	スコア	肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
非リスク者数		95	84	96	88	85
リスク者数		665人	743人	783人	1,003人	788人
リスク者割合		54.6%	49.3%	46.6%	31.5%	46.1%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		51.9%	41.2%	44.6%	27.7%	39.3%

■2022年度

自健保	スコア	肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
非リスク者数		99	82	97	95	93
リスク者数		662人	682人	775人	988人	795人
リスク者割合		52.0%	50.6%	43.8%	28.3%	42.3%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
リスク者割合		51.4%	41.4%	42.4%	26.8%	39.3%

被保険者（男性）健診



被保険者（男性）健診



被保険者（男性）健診

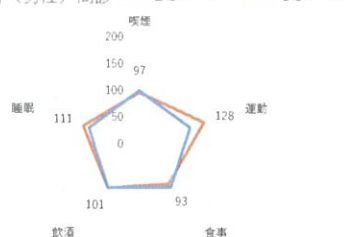


14-4.被保険者（男性）問診

■2020年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	97	128	93	101	111
	非リスク者数	861人	540人	850人	1,169人	974人
	リスク者数	490人	786人	481人	169人	369人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	36.3%	59.3%	36.1%	12.6%	27.5%

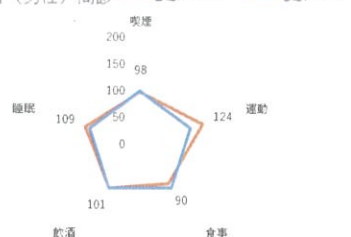
被保険者（男性）問診



■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	98	124	90	101	109
	非リスク者数	962人	587人	885人	1,271人	1,024人
	リスク者数	504人	852人	551人	184人	429人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	33.2%	67.1%	31.8%	13.1%	35.1%

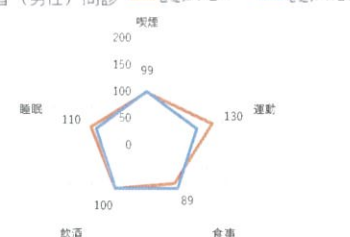
被保険者（男性）問診



■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	99	130	89	100	110
	非リスク者数	921人	604人	827人	1,195人	965人
	リスク者数	459人	763人	537人	179人	407人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	32.4%	66.0%	32.0%	13.2%	36.0%

被保険者（男性）問診

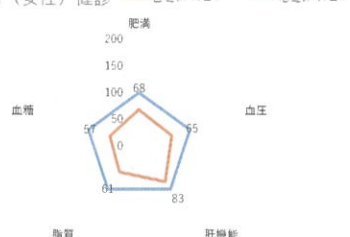


14-5.被保険者（女性）健診

■2020年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	68	65	83	61	57
	非リスク者数	2,432人	2,181人	3,061人	3,168人	2,331人
	リスク者数	1,353人	1,603人	723人	616人	1,444人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	24.2%	27.4%	15.8%	9.9%	22.0%

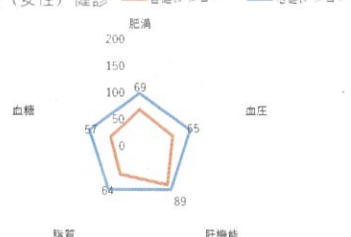
被保険者（女性）健診



■2021年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	69	65	89	64	57
	非リスク者数	2,282人	2,075人	2,874人	2,985人	2,135人
	リスク者数	1,223人	1,430人	629人	518人	1,364人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	24.2%	26.7%	15.9%	9.5%	22.4%

被保険者（女性）健診



■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	69	67	92	66	59
	非リスク者数	2,124人	1,931人	2,698人	2,789人	2,002人
	リスク者数	1,116人	1,307人	540人	449人	1,233人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	23.9%	27.0%	15.3%	9.1%	22.5%

被保険者（女性）健診

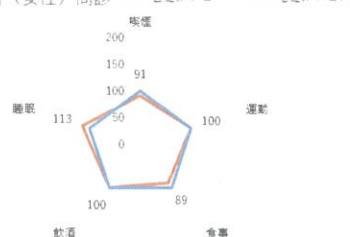


14-6.被保険者（女性）問診

■2020年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	91	100	89	100	113
	非リスク者数	2,918人	967人	2,277人	3,522人	2,405人
	リスク者数	867人	2,578人	1,293人	141人	1,268人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	15.4%	72.8%	28.4%	4.0%	42.3%

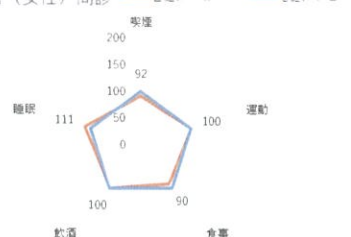
被保険者（女性）問診



■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	92	100	90	100	111
	非リスク者数	2,745人	927人	2,131人	3,312人	2,180人
	リスク者数	759人	2,392人	1,178人	141人	1,272人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	14.9%	72.1%	28.8%	3.9%	42.9%

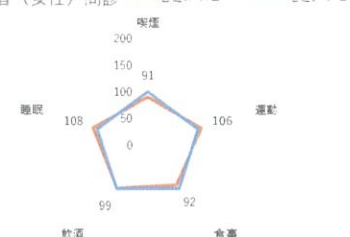
被保険者（女性）問診



■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	91	106	92	99	108
	非リスク者数	2,517人	951人	2,030人	3,049人	1,906人
	リスク者数	723人	2,174人	1,103人	145人	1,294人
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	14.2%	71.2%	29.3%	4.0%	44.6%

被保険者（女性）問診

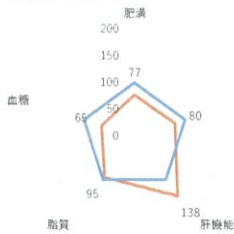


14-7.被扶養者（全体）健診

■2020年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	77	80	138	95	65
	非リスク者数	100人	89人	123人	125人	90人
	リスク者数	40人	51人	17人	15人	50人
	リスク者割合	28.6%	36.4%	12.1%	10.7%	35.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	22.1%	29.1%	16.6%	10.2%	23.3%

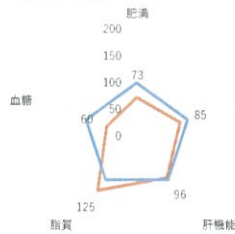
被扶養者（全体）健診



■2021年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	73	85	96	125	60
	非リスク者数	137人	129人	162人	180人	120人
	リスク者数	59人	67人	34人	16人	76人
	リスク者割合	30.1%	34.2%	17.3%	8.2%	38.8%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	22.1%	29.0%	16.6%	10.2%	23.1%

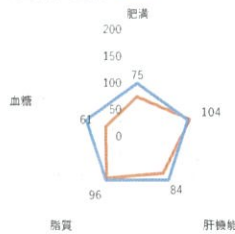
被扶養者（全体）健診



■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	75	104	84	96	61
	非リスク者数	88人	89人	100人	111人	77人
	リスク者数	36人	35人	24人	13人	47人
	リスク者割合	29.0%	28.2%	19.4%	10.5%	37.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	21.6%	29.5%	16.3%	10.0%	23.1%

被扶養者（全体）健診

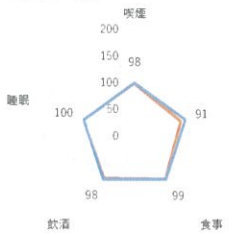


14-8.被扶養者（全体）問診

■2020年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	98	91	99	98	100
	非リスク者数	129人	42人	112人	129人	97人
	リスク者数	11人	93人	24人	7人	40人
	リスク者割合	7.9%	68.9%	17.6%	5.1%	29.2%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.4%	65.9%	16.6%	2.8%	29.0%

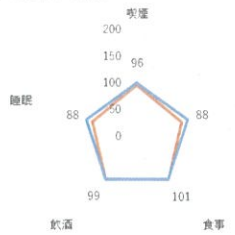
被扶養者（全体）問診



■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	96	88	101	99	88
	非リスク者数	177人	58人	157人	185人	119人
	リスク者数	19人	132人	31人	7人	73人
	リスク者割合	9.7%	69.5%	16.5%	3.6%	38.0%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.3%	65.2%	17.1%	2.8%	29.6%

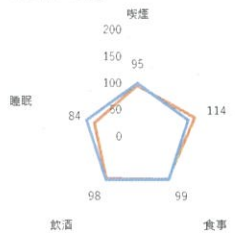
被扶養者（全体）問診



■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	95	114	99	98	84
	非リスク者数	111人	50人	98人	116人	71人
	リスク者数	13人	72人	22人	6人	51人
	リスク者割合	10.5%	59.0%	18.3%	4.9%	41.8%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.1%	64.0%	17.2%	2.8%	30.4%

被扶養者（全体）問診



今日から始めてみませんか!



健康 **7** カ条



「健康維持」と「無駄な医療費の抑制」が目的です



- ① かかりつけ医を持ちましょう。
- ② ジェネリック(後発)医薬品を利用しましょう。
- ③ はしご受診をやめましょう。
- ④ コンビニ受診をやめましょう。

- ⑤ 健康診査を必ず受けましょう。
- ⑥ 健診結果を受け取ったら
放置しないようにしましょう。
- ⑦ 日ごろから健康に気をつけ
ましょう。



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	力, キ	・ 特定健診では、受診率が減少傾向。病類の早期発見が遅れる可能性がある。 。	➡	受診率の向上は事業所の協力・理解が不可欠であることから、事業所と以下の課題を共有して取り組む。 ①対象者の受診漏れが無いよう ②健診データの作成に漏れが無いよう ③可能な限り検診メニューの忌避を避けるよう にする	
2	イ, エ, オ, 力, ク, シ, セ, チ	・ 加齢とともに医療費が上昇していることから、医療費抑制のためには、40代以降の重症化予防が必要である。	➡	・ 「健康7カ条」の周知 ・ 健康経営の促進 ・ 加入者情報の共有、事業所別健康レポート等を通して事業主とコラボヘルス、健保・事業主連名による通知等、両者で重症化予防に取り組む。	✓
3	ウ, ク, シ	・ 女性が多い組織構成（5年11月66.9%）でもあるが、女性被保険者の医療費の伸びが大きい。 ・ 婦人科系のがんの医療費が高い。	➡	・ 事業主とともに女性へのアプローチを強化する。 情報提供、予防の重要性の教育 乳がん・子宮頸がん検診の継続 地方自治体の健診の継続	✓
4	ア, ソ	・ 精神疾患は、(1)被扶養者の若年層で患者割合が高く、増加傾向。(2)被保険者の40代で患者数が多い。 ・ 電話相談事業を行っているが、利用率が低い。	➡	・ 健保だよりの他、健保ホームページや事業主のイントラネット、社内メールにより、電話相談の周知を図る。	
5	タ	・ 他健保と比較して被保険者では「男性」 血圧・食事にリスクがある方が多い。「女性」 肥満・血圧・脂質・血糖にリスクがある方が多い。	➡	・ 健保だより等により、多くの加入者が生活習慣病等の高リスクを抱えていることを周知する。 ・ 特定保健指導や個別の情報提供で意識改善を図っていく。	✓
6	カ	・ 生活習慣病の治療が必要にもかかわらず、治療を放置している対象者（患者予備群＋治療放置群）が26～28%存在する。	➡	・ 引き続き、対象者へ受診勧奨を行っていく。 ・ 「個人情報利用目的の公表」の整備後、事業主と加入者の健康状態を共有し、両者で受診勧奨、受診行動をチェックし、治療放置群を減少させていく。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・ 事業主の多くが鉄道構内での小売業であることから、男性被保険者と比べて、女性被保険者の割合が多い。（約6～7割を占める）	➡	・ 女性に重点を置いた保健事業を計画することが求められる。
2	・ 事業所は北海道から九州まであり、加入者は全国に点在、加えて、加入者の入れ替わりが激しい。	➡	・ 保健事業を実施する際、事業所の協力なくしては実施できない。情報共有と相互理解のもとに施策を遂行していくことが求められる。
3	・ 健保組合には医療専門職が不在である。	➡	・ 特定保健指導等では、今後も外部委託業者の活用が必要であるとともに、面談会場の設定等で事業所の協力は不可欠である。
4	・ 令和5年頃より健康経営に取り組む事業主が現れ始めた。	➡	・ 事業主と加入者の健康状態を共有し、両者で受診勧奨、受診行動をチェックし、治療放置群を減少させていく。 ・ ウォーキング大会のみならず、職場内での運動促進などのコラボヘルスを推進していく。

5	・加入者の加齢、医療技術の向上とともに医療費が毎年上昇している。	➔	・保健事業については費用対効果が求められ、不断の事業の見直しが必要。また、医療費削減にはこれまで以上に事業主との協業が不可欠。
---	----------------------------------	---	---

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・「がん健診」「人間ドック」の取り組みは、他健保組合と比較して、充実している。	➔	・健保財政面から加入者の負担増を検討する他、不要な内容を取りやめる。一方、医療費抑制のための新規事業（例：腎通知）を実施する。
2	・生活習慣病治療放置者が一定数存在する。	➔	・受診勧奨通知のみでは効果は限定的。健保と事業所が一緒に勧奨する仕組みが必要。
3	・健康相談ほっとラインの利用率は伸びているものの、他健保と比較してまだ低い。	➔	・事業主の協力を得て、事業主イントラネット、メール等により宣伝中。
4	・健康ウォーキング大会の参加者は、固定化されている傾向がある。	➔	・ウォーキング大会は、健康な人ほど参加する傾向にあり、参加者を増やす対策が必要。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 1. 健康維持の取組み ・「健康7カ条」の実行・健康経営の促進 2. 医療費削減を視野に ・事業所と一緒に取り組む・女性加入者に重点を置く・重症化予防に注力する。	事業全体の目標 ・令和11年度までの達成率 特定健診実施率87% 保健指導実施率55% ジェネリック利用率88%
--	---

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	事業所健康レポート・スコアリングレポート
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	受診勧奨
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
疾病予防	がん検診
疾病予防	健康ウォーキング大会
疾病予防	健康相談ほっとライン

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導宣伝	1,3	既存	事業所健康レポート・スコアリングレポート	全て	男女	40～74	被保険者	1	イ,ス	・特定健診データをもとに、事業所ごとに健康状況を分析。 ・健康課題を把握して必要な健康対策のアクションを促す。	ア	・組合会や健康保険担当者会議で説明。 ・事業所における労働安全委員会や各種会議等で活用し、健康対策につなげていく。	1,080	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	・事業所別に全議員、全事業所へ配布	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													7月組合会に5年度分送付	7月組合会に6年度分送付	7月組合会に7年度分送付	7月組合会に8年度分送付	7月組合会に9年度分送付	7月組合会に10年度分送付		
													健康レポートの配布(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・全事業所へ健康レポートを配布し、事業所別の特徴を説明する。 ・組合会及び健康保険担当者会議で配付、説明し、理解を深める。 ・健康経営に活用							
加入者への意識づけ																				
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健診	全て	男女	40～74	加入者全員	2	サ	・任意継続被保険者と被扶養者には、特定健診の案内を送付。ホームページにも案内を掲載 ・未受診者には受診勧奨を通知する。	ア	・事業所の定期健診と併せて実施。 ・任意継続被保険者と被扶養者には、健診業者の会場で実施。	-	-	-	-	-	-	事業所の協力・理解が不可欠であることから、受診率の向上のため事業主と以下の課題を共有して取り組む。 ①対象者の受診漏れが無いよう ②健診データの作成に漏れが無いよう ③可能な限り検診メニューの忌避が無いよう にする	・特定健診では、受診率が減少傾向。病類の早期発見が遅れる可能性がある。
													被保険者：定期健診時 被扶養者：健保指定の会場で実施 5年度分データは6年10月末日までにデータ集約締め切り	被保険者：定期健診時 被扶養者：健保指定の会場で実施 6年度分データは7年10月末日までにデータ集約締め切り	被保険者：定期健診時 被扶養者：健保指定の会場で実施 7年度分データは8年10月末日までにデータ集約締め切り	被保険者：定期健診時 被扶養者：健保指定の会場で実施 8年度分データは9年10月末日までにデータ集約締め切り	被保険者：定期健診時 被扶養者：健保指定の会場で実施 9年度分データは10年10月末日までにデータ集約締め切り	被保険者：定期健診時 被扶養者：健保指定の会場で実施 10年度分データは11年10月末日までにデータ集約締め切り		
													法定検診実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：93% 令和7年度：93% 令和8年度：94% 令和9年度：94% 令和10年度：95% 令和11年度：95%)・最終年度(令和11年度)までに健診受診率 被保険者95.0%を目指す。							
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,オ,ク,サ	・特定保健指導の必要性を改めて周知することにより、対象者及び事業所に対し、取り組みの理解と協力を得る。 ・事業所単位の実績提供により情報共有し、事業所においても健康課題を確認する。	ア,ウ	・これまでの取り組みと同様。面談時間や場所の提供・準備等に事業所の協力を仰ぐ。	-	-	-	-	-	-	事業所とともに対象者の削減に注力する。	・生活習慣病の治療が必要にもかかわらず、治療を放置している対象者（患者予備群＋治療放置群）が26～28%存在する。
													5年度分健診データより5年12～6年1月から保健指導開始。7年2月組合会で結果報告。	6年度分健診データより6年12～7年1月から保健指導開始。8年2月組合会で結果報告。	7年度分健診データより7年12～8年1月から保健指導開始。9年2月組合会で結果報告。	8年度分健診データより8年12～9年1月から保健指導開始。10年2月組合会で結果報告。	9年度分健診データより9年12～10年1月から保健指導開始。11年2月組合会で結果報告。	10年度分健診データより10年12～11年1月から保健指導開始。12年2月組合会で結果報告。		
													特定保健指導実施率(【実績値】35% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：45% 令和9年度：45% 令和10年度：50% 令和11年度：55%)-							
保健指導宣伝	2	既存	受診勧奨	全て	男女	30～74	基準該当者	1	ウ,ス	・健診結果数値が基準を超えて、高血圧、糖尿病、脂質異常症のリスクが高いもので、健診3か月前～最新診療月までレセプトがない者に通知特定健診や人間ドックの受診結果による要検査放置群に対して、受診勧奨通知を送付する。 ・通知数カ月後にチェックを行い、検査放置継続者には再度、通知を送付する。	ア,シ	・事業所にも受診勧奨者を通知し、事業所からも再検査状況をチェックする体制づくりを目指す。	-	-	-	-	-	-	・健保組合からの受診勧奨に留まらず、事業所からのアプローチも行い、重症化予防を推進していく。	・加齢とともに医療費が上昇していることから、医療費抑制のためには、40代以降の重症化予防が必要である。 ・女性が多い組織構成（5年11月66.9%）でもあるが、女性被保険者の医療費の伸びが大きい。 ・婦人科系のがんの医療費が高い。 ・他健保と比較して被保険者では「男性」血圧・食事にリスクがある方が多い。「女性」肥満・血圧・脂質・血糖にリスクがある方が多い。 ・生活習慣病の治療が必要にもかかわらず、治療を放置している対象者（患者予備群＋治療放置群）が26～28%存在する。
													3月通知。6カ月間経過確認。	3月通知。6カ月間経過確認。	3月通知。6カ月間経過確認。	3月通知。6カ月間経過確認。	3月通知。6カ月間経過確認。	3月通知。6カ月間経過確認。		
													通知人数(【実績値】270人 【目標値】令和6年度：250人 令和7年度：250人 令和8年度：240人 令和9年度：240人 令和10年度：230人 令和11年度：230人)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退 ・35年度までに治療放置群を3割程度減少させる。							
2,5	既存	機関紙発行	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	これまで同様、年4回の発行を計画。	ア,シ	-	-	-	-	-	-	-	・紙での発行停止、デジタルのみを検討する。 ・情報提供はホームページに移行中。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
												1月、4月、7月、10月発行。	1月、4月、7月、10月発行。	1月、4月、7月、10月発行。	1月、4月、7月、10月発行。	1月、4月、7月、10月発行。	1月、4月、7月、10月発行。			
												発行回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退 ・年4回の発行								
													-	-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
	2,7	既存	後発医薬品の差額通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ,ス	・年2回、対象者へは事業所を経由して送付。	ア,シ	・業務委託	年2回送付	年2回送付	年2回送付	年2回送付	年2回送付	年2回送付	・後発医薬品への切替余地のある対象者へ差額通知を実施し、後発医薬品への切替を促し、切替率50%以上を目指す。 (数量切替の把握が困難な場合に備えて、切替者の率で把握する)	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
切替率(【実績値】57.4% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)・年2回発送 ・目標 2回目の通知について 6カ月目65%以上とする												向上率（数量比率）(【実績値】8.17% 【目標値】令和6年度：9% 令和7年度：9% 令和8年度：9% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)・年2回発送 ・目標 2回目の通知について 6カ月目数量比率－通知前数量比率＝10ポイント（%）以上とする												
疾病 予防	2,3	既存	がん検診	全て	男女	30～74	基準該当者	1	ウ	がん検診の希望者に ・事業所定期健診時に同時検査 ・郵便検診	シ	・郵便検診は機関誌・ホームページで周知。	1 事業所に依頼して実施する検診 大腸がん 30歳以上の被保険者 胃がん 30歳以上の被保険者 2 郵便検診 大腸がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 子宮頸がん 20歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定） 胃がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 前立腺がん 50歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定）	1 事業所に依頼して実施する検診 大腸がん 30歳以上の被保険者 胃がん 30歳以上の被保険者 2 郵便検診 大腸がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 子宮頸がん 20歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定） 胃がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 前立腺がん 50歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定）	1 事業所に依頼して実施する検診 大腸がん 30歳以上の被保険者 胃がん 30歳以上の被保険者 2 郵便検診 大腸がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 子宮頸がん 20歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定） 胃がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 前立腺がん 50歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定）	1 事業所に依頼して実施する検診 大腸がん 30歳以上の被保険者 胃がん 30歳以上の被保険者 2 郵便検診 大腸がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 子宮頸がん 20歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定） 胃がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 前立腺がん 50歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定）	1 事業所に依頼して実施する検診 大腸がん 30歳以上の被保険者 胃がん 30歳以上の被保険者 2 郵便検診 大腸がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 子宮頸がん 20歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定） 胃がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 前立腺がん 50歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定）	1 事業所に依頼して実施する検診 大腸がん 30歳以上の被保険者 胃がん 30歳以上の被保険者 2 郵便検診 大腸がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 子宮頸がん 20歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定） 胃がん 30歳以上の被扶養者（配偶者限定） 前立腺がん 50歳以上の被保険者及び被扶養者（配偶者限定）	・事業主とともに女性へのアプローチを強化する。 情報提供、予防の重要性の教育。乳がん ・子宮頸がん検診の促進。地方自治体の検診の促進	・女性が多い組織構成（5年11月66.9%）でもあるが、女性被保険者の医療費の伸びが大きい。 ・婦人科系のがんの医療費が高い。				
	受診人数(【実績値】4,887人 【目標値】令和6年度：4,500人 令和7年度：4,500人 令和8年度：4,550人 令和9年度：4,550人 令和10年度：4,600人 令和11年度：4,600人)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退												受診人数(【実績値】4,887人 【目標値】令和6年度：4,500人 令和7年度：4,500人 令和8年度：4,550人 令和9年度：4,550人 令和10年度：4,600人 令和11年度：4,600人)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退											
	2,5	既存	健康ウォーキング大会	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ケ	・機関誌等で参加者を募集。3コースから本人に適したコースを選択。 ・各コースの達成者へは記念品を贈呈。	シ	・一定の期間（1か月間など）を設定。 ・万歩計や携帯アプリを活用して記録。	6年7月 募集開始 6年9月～10月（1か月間）開催 7年1月 結果報告 7年2月 記念品贈呈	7年7月 募集開始 7年9月～10月（1か月間）開催 8年1月 結果報告 8年2月 記念品贈呈	8年7月 募集開始 8年9月～10月（1か月間）開催 9年1月 結果報告 9年2月 記念品贈呈	9年7月 募集開始 9年9月～10月（1か月間）開催 10年1月 結果報告 10年2月 記念品贈呈	10年7月 募集開始 10年9月～10月（1か月間）開催 11年1月 結果報告 11年2月 記念品贈呈	11年7月 募集開始 11年9月～10月（1か月間）開催 12年1月 結果報告 12年2月 記念品贈呈	・事業所によって参加率に大きな差がある。極端に低い事業所を底上げして、健保組合全体で10%の参加率を目指したい。	・他健保と比較して被保険者では「男性」血圧・食事にリスクがある方が多い。「女性」肥満・血圧・脂質・血糖にリスクがある方が多い。				
	参加率(【実績値】5.6% 【目標値】令和6年度：6% 令和7年度：7% 令和8年度：8% 令和9年度：9% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退 ・参加したくなるようなインセンティブの検討 ・参加率10%以上、目標達成率75%以上。												達成率(【実績値】61.6% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：68% 令和8年度：70% 令和9年度：72% 令和10年度：75% 令和11年度：75%)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退 ・健康意識の向上 ・目標達成率75%以上。											
	1,5,6	新規	健康相談ほっとライン	全て	男女	18～74	加入者全員	1	オ,ス	・専用ほっとラインにアクセスし、健康・医療・育児・介護・メンタル相談に加え、医療機関情報も受けることが可能。	イ,ウ	・けんぽだより等で専用ほっとライン周知を継続する。	・年4回の健保だより ・健保ホームページ ・事業主イントラネットによる告知	・年4回の健保だより ・健保ホームページ ・事業主イントラネットによる告知	・年4回の健保だより ・健保ホームページ ・事業主イントラネットによる告知	・年4回の健保だより ・健保ホームページ ・事業主イントラネットによる告知	・年4回の健保だより ・健保ホームページ ・事業主イントラネットによる告知	・年4回の健保だより ・健保ホームページ ・事業主イントラネットによる告知	・健康・医療・育児・介護相談や、メンタルヘルス相談も加え、医療機関の照会も可能とし、気軽に無料で相談できる総体的な医療相談のツールとする。 ・医療費削減も目的の一つ。	・精神疾患は、①被扶養者の若年層で患者割合が高く、増加傾向。 ②被保険者の40代で患者数が多い。 ・電話相談事業を行っているが、利用率が低い。				
利用件数(【実績値】70件 【目標値】令和6年度：70件 令和7年度：75件 令和8年度：80件 令和9年度：85件 令和10年度：90件 令和11年度：95件)・6年度 JR東海リテイリング・プラス脱退。目標利用件数：被保険者数×1%を基本に毎年＋5件 ・認知拡大、利用促進に向け、機関誌・チラシ・ホームページ等での周知を図る。												・相談内容は個人情報に該当し、内容分析ができない。 (アウトカムは設定されていません)												

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他